

五村の生活

1 村明細帳

一五
五百三拾九石壺斗五升四合
むかし高

内

百七拾五石九斗五升三合

此反別式拾七町五反八畝六歩
今高田里共
御水帳壺斗五升四合
御水帳壺斗五升四合

内

三百三拾壺石壺斗三升六合
一上田拾町壺反七畝拾七步
此反別式拾七町五反八畝六歩
六反四畝廿壺步
壺反付
壺石三斗

内

三百三拾壺石壺斗三升六合
田 高

内

此反別式拾七町五反八畝六歩
八石四斗壺斗八升三合
此分高百三拾式石壺斗八升三合

三木村高反別并諸色指出帳

(表紙)
元禄拾年
三木村高反別并諸色指出帳
(元禄十年)
三木区有文書

丑 二月

外ニ四反七畝四歩

山下溝下石入共引高

此分高六石壺斗或升八合

一中田七町八反武畝或拾四歩

壺反_{二付}
壺石_{式斗}

此分高九拾三石九斗三升六合

一下田七町七反壺畝或拾七歩

壺反_{二付}
壺石_{壺斗}

此分高八拾四石九斗九合

一下々田壺町三反八畝或拾四歩

壺反_{二付}
壺石_{壺斗}

此分高拾三石八斗八升

惣反別合或拾七町

壺反_{二付}
壺石_{式斗}此分高合三百石_{三拾壺石壺斗三升六合}

毛付高

外_二 反別四反七畝四歩

此分高武石七斗五升五合

毛付高

此分高六石壺斗或升八合

永荒引高

一屋敷四反 此分高五石武斗

一上烟七反武畝拾武歩

壺反_{二付}
壺石
毛付高

一麻畠壺反武畝九歩 此分高壺石五斗九升九合

此分高七石武斗四升

毛付高

反別合五反武畝九歩

一中烟壺町壺反武畝

此分高拾石八升

此分高合六石七斗九升九合

内

武畝武拾壺歩

寺屋敷御免地

此分高三斗五升壺合

六畝拾八歩

御免地庄屋や敷

此分高三斗六升九合

但、天和武年戊年々御用捨引

武畝武拾五歩

麻烟御用捨引

此分高武石四斗九升六合

明屋敷烟毛付入

壺反九畝六歩

残り麻屋敷

此分高武石四斗九升六合

残り麻屋敷

式反武拾九歩

麻烟之儀、右ハ壺石三斗盛ニテ石上ヶ候ヘ共、只今

八斗盛ニ被為仰付候、

八斗盛ニ被為仰付候、

此分高武石七斗五升五合

八斗盛ニ被為仰付候、

毛付高

八斗盛ニ被為仰付候、

是ハ天和式年ニ御用捨、茶下大分ニ御座候ヘ共、少

々御立被遣迷惑仕候、

残高九石五斗武升八合

此反別壱町五畝武拾六步

毛付高

壱反ニ付 八斗

内

壱反三畝 此分高壱石四斗三升

田成引高
荒烟引高

六畝

此分高四斗武升

四反七畝拾武歩

此分高三石五斗九升

残反別壱町壱反武畝廿七歩

十九石八斗武拾三石七斗五升武合

此分高武石七斗九升

毛付高

此分高四石八斗武升四合

内壱石六斗武升

荒烟引高

此反別壱反壱畝

一下々烟三反八畝拾八步

壱反ニ付 七斗

毛付高

此分高武石七斗九升

壱石四斗壱升八合

荒引高

一下々烟五畝拾八步

壱反ニ付 壱石
見取場

此分高四斗四升八合

壱反ニ付
八斗盛

残反別壱反八畝拾步
此分高壱石武石八升四合

一下々田武畝九步

見取場

一荒烟六畝 此分高四斗武升

是ハ御檢地名御引被遣候、
武町七反九畝九步

惣反別三町八畝拾五步

此分高武拾七石七斗六升武合

此分高武拾七石七斗六升武合

内

壱反三畝 此分高壱石四斗三升

田成引高
荒烟引高

六畝

此分高四斗武升

四反七畝拾武歩

此分高三石五斗九升

残反別壱町壱反武畝廿七歩

十九石八斗武拾三石七斗五升武合

此分高武石七斗九升

一下々烟壱反九畝六步 壱石武斗五升六合

壱反ニ付 壱石
見取場

此分高壱石九斗六合

見取場

此分高壱石武斗八升四合

此分高壠斗八升四合

壠反ニ付
八斗盛

烟反別式反四畝式拾四歩

毛付高

此分高式石三斗五升四合

右土色之通御座候へハ、預り申者茂無御座候、夫故
雜穀とても取不申、弥迷惑仕候、

五

一東西江並シ三町 南北江拾四町余御座候、

一田地土色者かなけねば土少、石地も御座候、

一三木村家下方片間村家下田地入組井氣多郡加陽村田畠庄
堺迄、東西南北共ニ片間村三木村入組居申候、

一畠方土色 石地赤土ニ而御座候、
一見取場土色 右同前ニテ御座候、

一清冷寺村ニ井闇場、庄堺ニ新田ヒツタノ井御座候、其水片
間三木村田地三十町程ニ水懸り申候、先年々人足ハ

一田畠小作入上ヶ

出し不申候、

一上田壠反ニ付 八斗カ九斗五升迄

一片間村迄道法 拾町御座候、

一中田壠反ニ付 七斗カ八斗五升迄

一大谷村迄道法 八町余り御座候、

一下田壠反ニ付 六斗五升カ七斗迄

一出石迄道法 壱里余御座候、

一下々田壠反ニ付 五斗五升カ六斗迄

一豊岡江道法 武里余御座候、

右之通、春々預ケ申候ヘ共、水所ニテ御座候ヘハ、

一京迄道法 武拾八里余御座候、

至于秋壠反ニ付五斗三斗五升^(カ脱カ)、又ハ皆無ニ成申年も

一大坂迄道法 三拾里余御座候、

御座候、

一江戸江 百五拾里余御座候、

一畠方之儀、少々ニテ御座候ヘハ、預ケ申儀も無御座

一他村江田畠相渡、入作仕候御事

候、

三石四斗九升

一田畠高合百八拾石余

四石四斗四升三合

内

九斗五升

片間村惣右衛門入作、

七拾石余

是ハ氣多田上之郷村江年数ニ出作仕候、

百姓数四人、

七拾石余

是ハ出石八木屋又三郎ヘ年数ニ相渡し申

候、百姓数三人、

五石余

是ハ同村商人渡り次年数ニ相渡し居申候、

百姓数一人、

拾三石余

是ハ中之郷村権十郎と申者ニ年数ニ相渡
し居申候、百姓数三人、

七斗九升三合は菅谷荒木村六郎右衛門と申へ入仕申
候、百姓数一人、

拾三石余

是ハ豊岡絹屋ヘ年数ニ相渡申候、百姓数

武人、

四石余
是ハ丸谷村六郎右衛門と申者年数相渡居
申候、百姓老人、

一薪取場菅谷福見村并暮坂村と申所ニ毎年村中々代銀

拾三石余

是ハ氣多郡土井村九左衛門と申者ヘ年数
ニ相渡居申候、百姓数一人、

一御林

無御座候、

一当村田地水所ニ紛無御座候、田地之地形は出石川上

ニ御座候ヘハ、數度田地ヘ水のまへ、水ニ立往還右

上へのまへ申候時者五七日も水逗留御座候、時分ニ

立毛実も入不申候、

一御林

無御座候、

一萱野

無御座候、

一芝野無御座候故、氣多郡中ノ郷村市谷と申山ニテ柴

代として年々米出し刈取申候、道法毫里余山所迄御

座候、

一薪山少々、^{三ヶ所}○御座候、柴木田草ニ刈取申候山之儀

少々御座候故ニ反歩場積り不申候、所々ニ松木少し
御座候、

一薪取場

菅谷福見村并暮坂村と申所ニ毎年村中々代銀

出し薪刈取申候、道法山所迄武里余御座候御事

一 尾越、尾伝、気多郡中之郷村野山、(合脱カ)菅荒木村野山へ

先年より入来、柴少々取申候、代銀代米札とても取不

申入來申候、道法半里御座候御事

一 山手米九斗八合

一 外物之御事

一 編目三百七拾武匁八分

一 村中より上納來り候、

一 米七斗一升武合

一 茶代とて上納仕来候、

一 銀式拾九匁六分六厘

一 ぬかわら代とて上納銀、村

一 中より仕来候、

一 御水帳壱冊 寛永拾四年ニ御改御座候、

一 庄屋給 高百石付三斗宛從御公儀被遣來候事

一 組頭給米とてハ不被遣候御事

一定使給米百石付壠斗五升宛被遣來候事、定使ニ遣申

給米ハ壠ヶ年ニ武石宛遣申、御公(儀)様より被遣候外ハ

百姓より出し申候、

一 出入下用とて御物成百石ニ付武斗宛被遣來候、

一 御用付出石所々ハ一夜泊

参候節八

夫銀庄屋組頭老匁

一 海ハ

一 獅船并渡船

一 無御座候、

一 樹木之類少々御座候ハ共、足シニ成不申、

一 魚鳥菓子之類

一 馬医

一 馬喰

一 牢人并医者

一大工壠人も無御座候、

一 商人

一 狩人・鍛冶・木挽・杣取・左官

一 紺屋

一 篓屋敷

一 陣屋敷

一 郷藏屋敷

一 酒屋

一 無御座候、

一 無御座候、

一 無御座候、

一 市場	無御座候、	一 馬草場	無御座候、
一 御伝馬	無御座候、	一 船	無御座候、
一 助馬	無御座候、	一 蔽	少々宛六ヶ所御座候、内三所蔽下式畠程御座候、 是者御年貢成ニテ御座候、残蔽四ヶ所宮蔽ニテ 御座候、間尺之儀少之蔽ニテ書付御座候、
一 應場	無御座候、	一 焼	無御座候、
一 隣村	同御領主ニテ御座候、	一 塩燒	無御座候、
一 御朱印地	無御座候、	一 沼地	無御座候、
一 隅地式間四面觀音堂御座候、但、敷地八間四方程御 座候、是者地改之時分乃御捨免にて御座候、	一 沼地	一 用水溜井	無御座候、
一 氏神九社大明神、但、敷地十間余程御座候、并荒神 御座候、右同所御赦免ニテ御座候、	一 用水溜井	一 用水堰場	鳥居村ニテ出石川堰立申候、尤土俵ハ御 公儀様より御出し被遣候、并杭木ハ村々松杭持寄、 人足ハ高百石ニ四人宛出し申候、
一 村之谷ニ荒神御座候、	無御座候、	一 地ノかこいノ土手切レ損シ候ヘハ、御公儀様より御普 請被遊、人足老人前一日ニ米七合五勺宛被遣來候、 是者從御公儀様、被遊被遣候、	一 村之内東西谷川式筋御座候、大雨ニテ御座候ヘハ田
一 神主除地	無御座候、	一 往還ニ塙桶老ツ、長サ壱間半、内法八寸程御座候、	一 往還ニ塙桶老ツ、長サ壱間半、内法八寸程御座候、
一 切死丹類族 <small>(芝とく)</small> ころひ者	無御座候、	一 紙漉	一 紙漉
一 鉄砲	無御座候、	一 紙漉	一 紙漉
一 山川物其外所之名物献上物	無御座候、	一 紙漉	一 紙漉
一 紙漉	無御座候、	一 紙漉	一 紙漉

一橋ハ大道ニ四ツ御座候、并ニ田地ノ通路ニ土橋三ツ

御座候、是者御公儀様々松木被遣百姓懸ケ來申候、

一種貸并夫食米其外拝借銀ハ大和守様の備前守様迄御借シ被為成候へ共、近年者御借シ不被遊、弥迷惑仕候、

一越石

無御座候、

一御城米尤他国へ上り申節者、御藏々米福成寺口迄ハ

百姓出シ、其上乗共御公儀様々御付ケ被遊候、

一御城米運賃被下候訳

無御座候、

一女かせぎニハ食物之持仕候間ニ、手嶋之糸持仕候、

男も耕作仕付申し、隙候時分ハ手嶋打申候、并ニか

ますも打申候、銀壺々付八枚九枚只今ハ仕候、右

ハ四枚五枚仕候節者、塩ノ足ニも成申候へ共、只今

ノ直段(値)ニてハ、足ニも成不申候、先年々仕來申候故、

如此御座候、

一へりとり壺枚ニ付代銀八分九分仕候、何之足ニも成不申候へ共、右之通ニ先年々仕來申候、葦草前々

□置申故無是非右之通ニ仕候、

右之通、当村高反別并小物成諸役懸り物其外村中ニ在来候品々、少茂無相違書出し申候、尤此外新開田畠見

取場御林萱野無御座候、若隠置、後日隠田畠等有之由脇々訴人御座候ハ、庄屋組頭加判之者共、何分之越度ニも可被仰付候、依之、此度村中惣百姓立合、品々委細吟味仕、一事茂不殘書上ケ申候、仍而如件、

元禄拾年

但馬国出石郡下郡

丑二月

三木村庄屋

岡右衛門

同村年寄

彦三郎

同

嘉右衛門

同村

六郎兵衛

兩御代官様

四六 三木村高反別并諸色指出帳（宝永三年）

三木区有文書

(表紙)

宝永三年

三木村高反別并諸色指出帳

戌七月

○元禄拾年指出帳に登載されていない項、い

ちじるしく異なつた記載の項のみを挙げる。

一 御年貢米之儀、伏村御藏出し被為仰付候へ者伊豆村
迄出シ、其舟賃米壹俵ニ付六合又ハ八合迄ニ御座
候、道法伊豆村迄拾四町御座候、

一 当村水呑之者多畠御座候故、氣多郡加陽村、又ハ清
冷寺村ニ而、畑少々宛出仕候、

一 当村市場無御座候故、氣多郡宵田村ニ市場御座候、
年々七月五日・同十日・極月廿日・廿五日市立申候
ニ付、此所江参壳買申候、又ハ出石本町市場ニ而御
座候、是ハ極月四日より八日・十四日・十八日・廿
四日・廿八日市立申候、此所江参壳買仕候、

一 男牛四疋御座候、但シ、耕作時分ニハ又ハ牛買調申
候、若牛相煩申候節、氣多郡加陽村玄知と申医者賴、

一 片間村三木村田畠東西江並シ三町、当村々南北江拾
四町御座候、氣多郡加陽村庄境迄三木村家下の片間

養生仕候、

一 郷藏壹軒御座候、長式間 橫壹間半 但シ、藁ふき

藏屋敷之義ハ御年貢地ニテ御座候、

一 寺壱ヶ所御座候、禪宗ニ而出石宗鏡寺末寺童谷寺と申
候、

村家下田烟入組申候、

一もみ種一反ニ付五升宛、

一畑作 春作 麦(小麦)六角

夏作 大豆・稗・小豆

一田ノこやし 干か・つのし・下すこえ・田草・はい

など入申候、

一畑のこやし 右同断、

一田烟質物年季五歳三歳切ニ相渡シ申候、

高百拾五石九斗五升 右者豊岡御領分九日村七郎右衛門

方江相渡置申候、本人拾三人ニテ御座候、

右之者共日役仕、渡世ヲ饋申候(おくり)

一高五拾石余 右者氣多郡土居村九左衛門方江相渡置

申候、本人三人ニテ御座候、右同断ニ暮居候、

一高三拾石余 是ハ出石宵田町吹田屋与兵衛方江相渡

置申候、右同断暮居候、本人四人ニテ御座候、

一高拾五石余 是ハ出石向町米や又三郎方江相渡置申

候、本人老人ニテ御座候、右同断ニ渡世いた

居申候(てまつり)、

但州出石郡荒木村 江戸へ 陸道百五拾里
舟道不奉存候、

一高拾六石 是者出石田結庄町鍋屋虎之介方江渡置申

候、本人三人ニテ御座候、右同断、

右之外、相残申候田畠茂方々江質物ニ入置申候、

一御検見之義者、是迄者たいていノ歳御(箱付)あいたいニテ

被為仰付候、作毛惡舗御座候儀者、小檢見ニ御石取、

反取ニ被為仰付來り候、

四九 但馬国出石郡荒木村指出帳 (宝永三年)

荒木区有文書

(表紙)

宝永三年

但馬国出石郡荒木村指出帳

戊ノ八月

川岸之義、(儀以下同)出石川筋ニテ御座候、

三百六拾四石武斗四升

細見分

小出和州様御代寛永拾弐年御検地

残而右同断、

一高千五石七斗八升五合

荒木村

内

弐百五石四斗壱升八合

大荒レ地無高 反別無御

座候、

御竿先々 荒田

此分米三拾石武斗

壱反付壱石盛

三町四反壱畝三歩

御竿先々 荒畑

此分米拾七石五升三合

壱反ニ付五斗盛

七百五拾三石壱斗壱升弐合

田畠麻屋敷

メ千五石七斗八升五合

八拾石壱斗九合 右大荒弐百五石四斗七升八合也、

四斗壱合

土なし高

残而三百拾弐石三升六合

田畠高

内 弐拾八石四升

社領分無役高

内 弐百八拾三石九斗九升六合

役高

内

百四拾三石武斗

荒地共

暮坂分

但シ、寛永九年ヲ御免状分れ申高也、

百六石武斗

荒共

福見分

分米百四石五斗八合

右同断、

三百九拾弐石壱斗四升五合

荒木村分

外ニ四斗壱合

（御領ヘ渡り申節、高たらす御座候候、土無高也、まし高御入被成）

二口メ三百九拾弐石五斗四升六合

内

三町武畝

御竿先々 荒畠

此分米三拾石武斗

壱反付五斗盛

七百五拾三石壱斗壱升弐合

田畠麻屋敷

メ千五石七斗八升五合

壱反ニ付五斗盛

此分米拾七石五升三合

田畠高

三町四反壱畝三歩

御竿先々 荒畑

此分米拾七石五升三合

壱反ニ付五斗盛

百四拾三石武斗

荒地共

暮坂分

但シ、寛永九年ヲ御免状分れ申高也、

百六石武斗

荒共

福見分

右同断、

壺石壠斗盛	下田五町武反壺畝拾五歩	分米四石四斗武升四合
壺石盛	分米五拾七石三斗六升五合	御検地之節、荒地故引高也、
壺石盛	下々田壺町四反武畝廿四歩	只今新発田ニ被成申候、
壺石盛	分米拾四石武斗八升	壺石三斗盛 屋敷六反武畝廿壺歩
壺石盛	荒田九反八畝七歩	分米壺石七斗六升
壺石盛	分米九石八斗武升三合	壺石三斗盛 屋敷六反武畝廿壺歩
壺石盛	上畠四反六畝	分米八石壺斗五升壺合
八斗盛	分米四石六斗	田高武百七拾壺石三斗三升四合
九斗盛	中畠六反武畝廿七歩	内
八斗盛	分米五石六斗六升壺合	九石八斗武升三合 御竿先之荒田、只今新発ニ仕
下畠壺町武反九歩	内 壺斗一升四合 毛時過申故まし引仕候、	候、
分米九石六斗武升四合	拾五石三斗九升八合 川成・石入・溝下・道下共、	
下々畠壺町武反九畝十五歩	御検地以後引地	
分米六石四斗七升五合	内 武斗七升八合 中年ノ新発おき地ニ罷成候、	
五斗盛	五斗七升六合 新川成巳午未ノ引地、	
五斗盛	壺石五升五合 水不懸故、畑高毛付へ入、	
五斗盛	引残而武百四拾四石四斗八升武合	
五斗盛	毛付	
五斗盛	外ニ八斗九升	
荒畠八反八畝拾五歩	畠直シ畠高之内乃入	

二口武百四拾五石三斗七升武合 田高毛付

内四斗八合 麻畠盛御用捨、

烟高三拾石七斗八升四合

引残而壱石三斗六升 毛付定取

内

四石四斗武升四合 御竿先之荒烟、只今新発ニ仕

候、地、

四石六斗九升壱合 川成・石入、御検地以後ノ引

九斗武升三合

神主屋敷御赦免、
庄屋屋敷御用捨、

内武升ハ高不合候故、まし引仕候、

壱石四斗九升六合 新発之覚
元禄八年之改
引残而三石七斗三升武合 定取

内武斗武升 申ノ年よりおき地新発罷成、

壱石四斗九升六合 新発之覚
元禄八年之改
引残而三石七斗三升武合 定取

壱石武斗壱升五合 茶下御用捨、

此反別

八斗九升

御帳面之畠を田ニ仕田高入、

六町七反九畝三歩

内

外ニ壱石五升五合

田高入、

武町六反六畝

田方

六町壱反三畝三歩

烟方

武石四斗九升六合 屋敷高入、

引残而拾九石武斗四合

畠高毛付

麻畠高壱石七斗六升八合

壱石武斗盛 中田武反四畝三歩

此 訳

分米武石八斗九升武合

此反別

壱石壱斗盛 下田武町四反武畝

下々田武畝武拾五步

分米武拾六石六斗武升壱合

分米武斗七升八合

田方毛付

壱石盛

下々畠四畝廿七歩

畠方毛付

分米五斗九升

分高武斗武升

茶代年貢

九斗盛

一大豆五斗

桜尾山楮下年貢

下畠五畝廿七歩

一米壱石七斗四升四合

茶代年貢

八斗盛

一米七斗八升

山畠年貢

田高武拾九石五斗壱升武合

此口米五升三合

桑役

内九斗八升

一そば五斗

山畠年貢

引残而武拾八石五斗三升武合

此口そば壱升五合

ぬかわら代

烟高三拾三石九斗九合

一銀武拾三匁武分

柔役

内九斗三升六合

一綿目八百武拾武匁四分

井料扶持米ニ被遣候、

壱石壱斗武升八合 年々荒川成砂入引地

一名主給高百石ニ付三斗宛被遣候、

引残而三拾壱石八斗四升五合 煙方毛付

但シ、右之外ニ出入下用と申米御物成百石ニ付武

一高四斗九升八合

古川成起地新発

斗武升ツ、外ニ小出様御代ニハ被遣候ヘ共、伊賀様御代ヲ不被遣候、御物成百石ニ付、八斗宛村中々出シ申候、

一定使給 高百石ニ付壱斗五升被遣候、

但シ、小出様御代ニハ四ヶ村壱所ニ当村ヘ被遣候ヘ共、伊賀様御代ニ四ヶ村ヘわけ遣シ申候、右、名主・定使給、御公儀様ヲ被遣候外、村々出申給米、無御座候、

一組頭給

一新田之義、右御帳面之外

無御座候、

一土地之義、赤土砂土石地ニ而御座候、

一当村之義、旱損所半分、水損所半分御座候、

一掛け物大豆之義、畊年貢大豆有切御納所仕候故、外ニ掛け物大豆ハ無御座候、

一掛け物桂之義、当村ニ無御座候、

一掛け物高江入候物、無御座候、

一魚鳥之運上無御座候、

一萱野芝野、無御座候、

一御林壱ヶ所

桜尾と申所、古来ハ入相之こそ草山ニ御座候処ニ、

寛文十壹年小出修理之助様御代ニ大栗山ニ可被成由ニ而、御留山ニ被成、則同年ニ大栗大分御植被成候ヘ共、壱斗も出来不申候、然共其まゝ御林ニ

被成候、此山之有木ハ、雜木松木ましりニ年々はへ上り申候、下草共御留山ニ御座候、町歩之義ハ其節御改も無御座候、去ル元禄九年子ノとし、小出様御家つぶれ、御領ヘ渡り申節、間相改見申候ヘハ、山之根廻り惟量之分式百五拾三間、谷入之所百六拾三間也、山之高サ西ノはしハ六拾間、中程百廿壱間、東ノはしハ八拾間也、御林守ハ当村之者与左衛門・三郎右衛門と申者兩人出し置申候、則当村之五人組へ入、于今当村支配ニ仕候、此兩人給分ハ当村分新発之内、畠壱反壱畝廿壠歩、御年貢御免許被成被遣候、諸役等之義ハ、当村ヲ用

一 御竹藪	当村ニ無御座候、 内	捨仕り来候、 内
一 御水帳	式冊 内	一 炭燒塩焼 (畠力) 一 浪地 無御座候、
一 本田古帳壱札	但シ、菅四ヶ村壱札ニ而寛永拾弐 年小出大和守様御代御検地、握手役人衆ハ木村半 右衛門殿・結城又右衛門殿・大崎勘右衛門殿・河 井二郎右衛門殿・中嶋九郎左衛門殿・南条三郎右 衛門殿 新発帳壱札 元禄八年亥ノ 小出久千代様御代押手役人 一 楠漆 無御座候、 一 紙漉 無御座候、 一 桑之義、少々宛御座候、 一 薪取場之義、上口三十町余之内養父郡境迄何方へ参 候ても、取来り申候、	一百姓抱之柴山 五ヶ所 但、百姓十六人抱之也、 内 下も山と申所壱ヶ所 根廻り三百六拾間高サ三拾間 くまのてんと申所壱ヶ所 根廻百八拾間高サ弐拾五 間 すわか谷と申所壱ヶ所 根廻三百八拾間高サ弐拾 間 一 夫米 御物成百石ニ付七石五斗宛御上納仕候、 一 永夫錢と申義ハ無御座候、
一口米 御物成百石ニ付三石ツ、御上納仕候、	六尺給之義も無御座候、 内	一百姓抱之柴山 五ヶ所 但、百姓十六人抱之也、 内 下も山と申所壱ヶ所 根廻り三百六拾間高サ三拾間 くまのてんと申所壱ヶ所 根廻百八拾間高サ弐拾五 間 すわか谷と申所壱ヶ所 根廻三百八拾間高サ弐拾 間 一 夫米 御物成百石ニ付七石五斗宛御上納仕候、 一 永夫錢と申義ハ無御座候、

一野錢と申儀無御座候、

一井闊数々御座候、百姓共せき來り申候、溝も百姓共

掘申候、夫故井料米御公儀様お被為下來申候、菅四

ヶ村田地たじへ用申候、

一水門六ヶ所御座候、内不動はなと申所ハ、長サ三間、

堅横老尺四方也、残而五ヶ所ハ長サ三間、堅横

五寸四方也、但、板樋ニ而御座候、損シ申節ハ

從御公儀様御ふセ直シ被下候、

一川除之義少々宛数々御座候、是ハ御国役として百姓

普請仕候、從御公儀様御扶持方老人ニ付七合五勺宛

被為下來候、

一溜池

同断、
無御座候、

一水樋

但シ、入用之節ハ、從御公儀様御請被為下來り候、

一掛ケ桶老ヶ所さをりと申所長サ三間半、堅横八

寸四方也、損シ申節ハ、御公儀様お御懸直シ被為

下候、

一橋老ヶ所 かせわきと申所、長四間一ツ橋板也、

但シ、百姓共かけ來り申候、

一川運上海運上

無御座候、

一獵舟渡し舟

一百姓惣家数七拾軒
六拾八軒

内

拾軒下作百姓家
三軒下作百姓家
三拾九軒水呑家

一屋敷拾八軒 内八ヶ所蔽之内御年貢地

百姓分

蔽廿老步伊右衛門 同五歩助太夫

同九歩五兵衛

同八歩弥兵衛 同三歩吉左衛門

同六歩与兵衛十郎

同武歩九兵衛 同三歩太右衛門

同九歩五兵衛

一田屋敷四軒内老ヶ所蔽之内御起地蔽地 三歩九郎助

一畠屋敷六軒 但シ、蔽ハ無御座候、

外外蔽六ヶ所 但、畠御年貢地

三歩三郎右衛門 六歩二郎兵衛 廿老步源左衛門

三歩長右衛門 五歩庄二郎 六歩六郎左衛門

蔽拾武ヶ所屋敷廻り岸ニ有、老歩甚左衛門

八歩文右衛門 拾武歩弥介 八歩二郎兵衛

- 三歩同人 八歩利右衛門 武歩八左衛門
 四歩新右衛門 九歩太兵衛 五歩与三左衛門
 六歩六右衛門 廿歩茶筅藪御免許 加兵衛分
 穴藪合拾九ヶ所
- 一人數合三百三拾壱人 内 百六拾三人男
 百六拾八人女
- 右人數之内不宜成者壱人も無御座候、勿論書付之
 外村中ニ壱人も隠置不申候、
- 一牛數合武拾疋内 拾七疋男牛 三疋女牛
 但シ、馬ハ無御座候、
- 一牛馬医 無御座候、
- 一馬喰 同断、
- 一牢人 同断、
- 一大工・木挽・桶屋・杓取・砂官・折敷指 無御座候、
- 一絵師 無御座候、
- 一御朱印寺社 無御座候、
- 一宮地六ヶ所
- 一宮地 正八幡宮、但、宮ノ軒間七尺并舞堂・御たび屋有
 (旅)
- 一酒屋 無御座候、
- り、祭礼之馬場 長七拾三間、横ならし 九間御座
 候、古來弓除地ニ御座候、但シ、此内ニ武畠斗之
 田畠御座候へ共、是も宮付ニ而御座候、
- 一高九斗武升三合 無年貢地 神主川崎六郎左衛門
 但シ、竹木共御免許御座候、
- 一辻堂壱ヶ所村入口ニ御座候、但、武間四方也、
 但シ、堂屋敷拾五歩程除地ニ而御座候、
- 一切死丹類族 無御座候、
- 一鉄砲式挺内 壱挺 玉目三匁五分 猿師筒 十兵衛
 壱挺 玉目三匁用心筒 六郎左衛門
- 一郷藏壱軒 但、武間四方かやふきニ而御座候、
 但、是八屋敷高之内御年貢地ニ而御座候、
- 一陣屋敷 無御座候、
- 一獵師壱人、十兵衛と申者、山川魚鳥之獵仕候、

一 御年貢之義出石へ貳拾町 舟道無御座候、川岸出石川筋ニ而御座候

一種貸銀米之儀 小出大和守様より御借被為下候へ共、

伊賀守様ニハ御借不被為成候、

一 他村より当村へ出作者 出石なべ屋虎之助 同 いつゝや六右衛門 同 米屋 又三郎

一 当村之義市場無御座候、

北ハ鳥居村迄貳拾貳町 出石御領方

一 当村隣村江 東ハ出石へ 貳拾町 同断

南ハ細見村へ五町 同断

西ハ福見村へ拾五町 同断

右ハ菅四ヶ村入相ニ而御座候故、如此仕申候、

わせ ほつこくもち弥

一 稲毛 中手 どろあかいね
おくて かしたあかさう

一 畜作毛 春作毛 大麦・小麦
夏作毛 大豆・小豆・粟・稗

其内稗多々宛作仕候、

一 女稼 耕作之時分ハ男同事ニ仕候、秋仕舞候ヘハ布木綿少仕候へ共、売買仕候程之義ハ無御座候、

一 当村田畠種子入候事 田壠反歩ニ種六升宛、

畠壠反歩 大豆五升ツ、
小麦壠斗五升ツ、

一 田之こやし第一草井下毛すこゑ入レ申候

一 畠之こやし 右同断、

右田畠こゑ草場月谷筋桜尾筋にう谷石坂と申所ニ御座候、

一 田畠小作上春預ケ 上田壠反壠石貳斗
中田壠反壠石壠斗
下田壠反壠石

下々田壠反八斗
上壠一反大豆八斗
中壠一反同 六斗
下壠一反同 四斗
下々壠一反同貳斗五升

右之通り春預ケニテ立毛次第ニ秋ハ免遣シ申候、

一年季質地田畠高拾石ニ付米ならば八石程 借用申候、

一男かせき 耕作仕舞候時分ハ薪柴草之かせき仕候、

一御用ニ付名主組頭百姓共ニ江戸ヘ罷越候義ハ只今迄
ハ無御座候、

一御檢見之義、只今迄ハ大檢分ニ而御免御究、悪作ニ
毛損被遣候、

一樹木之義、なし・柿少御座候へ共、売買仕候程ハ無
御座候、

一百姓四壁ハから竹・榎杯家廻りニ少々御座候、
一山伏并行人、老人も無御座候、

一鐘扣并こも僧道心、老人も無御座候、

一□多老人も無御座候、

一くわいらい師老人も無御座候、

一座頭三人、ござ老人御座候、

八十部 浅部 ござさよ志ゆ

油良部

右者、当村今度御支配ニ罷成候ニ付、御改被遊候、依
之田畠反別并浮役・臨時物等、其外御改之品々書上ヶ

申候通、少も相違無御座候、若隠置偽り申上候ハ、
如何様之曲事ニ茂可被仰付候、以上

荒木村庄屋 六右衛門

同村年寄 弥兵衛

同村同断 与三左衛門

宝永三年 戊ノ八月

御奉行様

四〇 但馬国出石郡弘原中村差出帳（宝永三年）

中村区有文書

（表紙）
宝永三年

但馬国出石郡弘原中村差出帳

戌 三月

但馬国出石郡中村

江戸ヘ 陸道百五十里

舟道

五 村の生活

				出石博勞町ノ上
				川岸陸道拾七町
				田烟高
				分米貳拾九石壱斗四升六合
				壱石三斗盛
				屋敷 六反壱畝三歩
				分米七石九斗四升三合
				壱石三斗盛
				壱町三反七畝拾貳歩
				分米拾七石八斗六升四合
				麻烟 壱町三反七畝拾貳歩
				屋敷麻高合貳拾五石八斗五合
				武石七斗五升六合
				内 四石四斗八升貳合
				武石九斗六升六合
				壱石武斗盛
				上烟合貳町貳反七畝拾貳歩
				分米武拾七石武斗八升八合
				壱石盛
				中烟合三町五反壱畝廿四歩
				分米武拾七石武斗八升八合
				八斗盛
				下烟合貳町貳反九畝三歩
				分米三拾五石壱斗八升
				六斗盛
				下々烟合貳町壱畝廿四歩
				分米拾八石三斗貳升八合
				六斗
				上々烟合貳町貳反四畝六歩
				壱石三斗盛
				此内煽起引残り分御引地 是ハ自分ニ覧付置
				内貳石五斗九升五合 荒川成山入石入
				田高合貳百貳拾四石九斗四升
				壱石三斗盛
				此内煽起引残り分御引地 是ハ自分ニ覧付置
				上々烟合貳町貳反四畝六歩

五斗盛 下々畠合	分米拾弐石壱斗八合	一高四石四斗五升八合	新田畠
六斗盛 荒畠七反五畝六步	分米六斗七升五合 茶下御用捨	此反別	
六斗盛 荒畠七反五畝六步	分米四石五斗壱升弐合	六反九畝九歩 内	五反弐畝廿壹歩 畠高
六斗盛 荒畠七反五畝六步	分米四石五斗壱升弐合	此反別	
烟高合百弐拾七石弐斗三升七合	荒川成茶下石入 堀等諸々引物	下々畠合五反弐畝拾八歩	壱石壱斗盛
内三拾石弐斗七升四合	此内へ帰起出スニ仍而引地通り申答	分米壱石八斗四升八合	下々畠合六畝廿壹歩
元禄五申年御改	此反別	分米弐石六斗弐升	壱石壱斗盛
一高壱石弐斗四升八合	新発田畠	右ハ宝永元申ノ年伊賀守様御代御改竿手沢井新兵衛殿御改	此反別
壱反三畝六歩 内	九畝弐拾四歩	壱石弐斗盛 上田 六畝六歩 西ノ年々本田起帰本田ニ入、	五反弐畝廿壹歩 畠高
下田合九畝廿四歩	此訛	分米七斗四升四合	新田畠
分米壱石七升八合	此反別	右ハ宝永二酉ノ年伊賀守様御代御地改竿手橋村宇兵衛殿	
右者小出久千代様御改御竿手村野四郎左衛門殿御改	此訛	右者御水帳之通ニ御座候、田畠麻屋敷引ケ反之訛	
一大豆之儀、畠高之分大豆ニ而御年貢上納仕候故、高	此反別	并新田之次第年々御免状ニ委御載被為遊置候、	
一當村旱損水損毎年大分御座候、	此反別	一土地赤土黒土白砂土ニ而真土ハ無御座候、	

五 村の生活

ニハカムリ不申候、

一懸り物荐之儀、作不仕候故、挂り物無御座候、

一懸り物高ニ入候物無御座候、

一魚鳥運上無御座候、

一萱野無御座候、

一御林老ヶ所

桜尾と申す所ニ御座候、古来ハ
町弘原六ヶ村立合之場所ニ而ハ
御座候へ共、御用山ニ被召上候、

一御竹藪無御座候、爰ハ上ケ帳ニ不申候筈、

一芝野無御座候、

長谷藤左衛門
板坂新五衛門

安田四郎右衛門
渡辺半七郎

一御水帳老改冊

御竿手

桜井平兵衛
藤村利右衛門

羽間瀬兵衛
遠山吉右衛門

山田半右衛門
足立作左衛門

二宮五郎兵衛

一桑木御座候、為御運上、

一桑代綿目老貰八百三拾目四分 上納仕候、

一茶木御座候 此御運上米五斗六升六合 上納仕候、

一楮役 米三斗三升九合 御運上ニ上納仕候、

一銀五匁六分八厘

糠 代

此ぬか拾八石九斗三升 但シ、石ニ付三分ツ、

一銀武拾五匁武分五厘

藁 代

此わら三百七拾九束 但シ、壹匁ニ付十五束ツ、

一漆役 無御座候、

一紙漉 無御座候、

一薪取場村之内ニ少し御座候、此御運上として
米九斗三升四合上納仕候、此外刈畠御年貢、

一栗三斗上納仕候、

一炭燒無御座候、

一塩燒無御座候、

一沼地無御座候、

一御運上差上ケ申御林無御座候、

一丑数七ツ 村百姓中庭持御座候人中七人、

一百姓林

下村堺谷山かみさかへ
一老ヶ所

拾三ヶ所、

横縦 横縦 横縦
五百間 九拾間 一百間
六十間 三十間 六十間
百六十間

谷山口古小寺寺迄
一老ヶ所

一 壱ヶ所	上	一 壱ヶ所	上
一 庄屋家ノ上	庄屋家ノ上	一 北谷	北谷
一 壱ヶ所	壠ヶ所	一 壱ヶ所	壠ヶ所
一 横ノ谷	壠ヶ所	一 横ノ谷	壠ヶ所
一 壱ヶ所	壠ヶ所	一 壱ヶ所	壠ヶ所
一 長坂	壠ヶ所	一 長坂	壠ヶ所
左ハ岩下切りお	壠ヶ所	左ハ岩下切りお	壠ヶ所
かくわ野山右ハさ	壠ヶ所	かくわ野山右ハさ	壠ヶ所
かへ岩切りハさ	壠ヶ所	かへ岩切りハさ	壠ヶ所
百三間	壠ヶ所	百三間	壠ヶ所
百五十五間	壠ヶ所	百五十五間	壠ヶ所
百拾間	壠ヶ所	百拾間	壠ヶ所
武百八十八間	壠ヶ所	武百八十八間	壠ヶ所
武百拾間	壠ヶ所	武百拾間	壠ヶ所
武五百五間	壠ヶ所	武五百五間	壠ヶ所
武五十間	壠ヶ所	武五十間	壠ヶ所
百六十間	壠ヶ所	百六十間	壠ヶ所
百六十九間	壠ヶ所	百六十九間	壠ヶ所
百四十五間	壠ヶ所	百四十五間	壠ヶ所
百四十五間	壠ヶ所	百四十五間	壠ヶ所
武六百四十五間	壠ヶ所	武六百四十五間	壠ヶ所
武八百五十五間	壠ヶ所	武八百五十五間	壠ヶ所
四八百五十五間	壠ヶ所	四八百五十五間	壠ヶ所
四十三間	壠ヶ所	四十三間	壠ヶ所
寺山	壠ヶ所	寺山	壠ヶ所
寺山ガ岩ちはな定さかへ石	壠ヶ所	寺山ガ岩ちはな定さかへ石	壠ヶ所
切り	壠ヶ所	切り	壠ヶ所
一 壱ヶ所	壠ヶ所	一 壱ヶ所	壠ヶ所
合拾三ヶ所	壠ヶ所	合拾三ヶ所	壠ヶ所
外ニ	庄ふちかうのしらふきのたわ迄	外ニ	庄ふちかうのしらふきのたわ迄
横縦	横縦	横縦	横縦
式四百四十三間	式四百四十三間	式四百四十三間	式四百四十三間
一 水門	無御座候、	一 水門	無御座候、
一 川除	是ハ御公儀様ノ御見分之上ニテ御国役と申候而隣在	一 川除	是ハ御公儀様ノ御見分之上ニテ御国役と申候而隣在
之者被召寄御普請被成下候、尤御扶持米七合五勺つ	之者被召寄御普請被成下候、尤御扶持米七合五勺つ	之者被召寄御普請被成下候、尤御扶持米七合五勺つ	之者被召寄御普請被成下候、尤御扶持米七合五勺つ
△被為遣候、少々之所ハ村中として仕申候、	△被為遣候、少々之所ハ村中として仕申候、	△被為遣候、少々之所ハ村中として仕申候、	△被為遣候、少々之所ハ村中として仕申候、
一 溶池壠ヶ所御座候、根置八間、高さニ御座候、	一 溶池壠ヶ所御座候、根置八間、高さニ御座候、	一 溶池壠ヶ所御座候、根置八間、高さニ御座候、	一 溶池壠ヶ所御座候、根置八間、高さニ御座候、
九尺御座候、	九尺御座候、	九尺御座候、	九尺御座候、
右ハ金剛寺谷と申所ノ田地、日損所ニ而延宝九年酉年ニ	右ハ金剛寺谷と申所ノ田地、日損所ニ而延宝九年酉年ニ	右ハ金剛寺谷と申所ノ田地、日損所ニ而延宝九年酉年ニ	右ハ金剛寺谷と申所ノ田地、日損所ニ而延宝九年酉年ニ
一 用水堰無御座候、	一 用水堰無御座候、	一 用水堰無御座候、	一 用水堰無御座候、
一 水樋無御座候、	一 水樋無御座候、	一 水樋無御座候、	一 水樋無御座候、
一 橋無御座候、	一 橋無御座候、	一 橋無御座候、	一 橋無御座候、
一 川運上無御座候、	一 川運上無御座候、	一 川運上無御座候、	一 川運上無御座候、
一 海運上無御座候、	一 海運上無御座候、	一 海運上無御座候、	一 海運上無御座候、
一 夫米 御物成百石ニ付七石五斗相定申候、	一 夫米 御物成百石ニ付七石五斗相定申候、	一 夫米 御物成百石ニ付七石五斗相定申候、	一 夫米 御物成百石ニ付七石五斗相定申候、
但し	是ハ米方ニ米、大豆方ハ大豆ニ而三分ツ、相定申候、	但し	是ハ米方ニ米、大豆方ハ大豆ニ而三分ツ、相定申候、
此所中村分ニ而御座候、草山	此所中村分ニ而御座候、草山	此所中村分ニ而御座候、草山	此所中村分ニ而御座候、草山
米大豆共高ニ七分五厘米ニ而相定申候、	米大豆共高ニ七分五厘米ニ而相定申候、	米大豆共高ニ七分五厘米ニ而相定申候、	米大豆共高ニ七分五厘米ニ而相定申候、
一 御口米 御物成百石ニ付三石ツ、相定申候、	一 御口米 御物成百石ニ付三石ツ、相定申候、	一 御口米 御物成百石ニ付三石ツ、相定申候、	一 御口米 御物成百石ニ付三石ツ、相定申候、

一 獅舟無御座候、
一 渡舟無御座候、

一百姓惣家数 五拾三軒 内 弐拾貳軒 百姓
一屋敷 弐拾貳軒

内

一竹藪 拾九ヶ所 こゝ所 拾八歩 善太夫
谷口 六歩 太郎右衛門
家ノ本 六歩 善太夫
廿壹歩 与三右衛門
長右衛門
右三ヶ所此反壱畝拾五歩此分御年貢地
庄屋々敷之内
老畝 御赦免屋敷内
六歩 不動院
明神山之内 六畝拾貳歩 同人
一 畑屋敷四ヶ所御座候、

一 人数合貳百貳拾九人 内 百拾七人 男
こゝ所ノとい
彦右衛門
廿四歩 善太夫
右人数之内不宜成者壱人も無御座候、

谷口 九歩 清太夫
庄右衛門 一郎兵衛
太郎右衛門 亀之介
藤右衛門 四郎太夫
家ノ上きし 三歩 五郎太夫
清水ノ上 三歩 与三右衛門
家ノ上 三歩 長右衛門
" 壱畝九歩 与三右衛門
右十三ヶ所ハ御年貢地ニテハ無御座候、

勿論書付之外村中ニ老人も隠置不申候、

一牛拾老匹 内 男牛 五疋
内 女牛 六疋

但、牛相煩候節ハ七間町治右衛門と申者牛医呼養
生仕候

一馬喰 無御座候、

一牢人 無御座候、

一大工 無御座候、

一木挽 無御座候、

一桶屋 無御座候、

一鍛冶 無御座候、

一榾屋 無御座候、

一打指 無御座候、

一絵師 無御座候、

一御朱印寺社 無御座候、

一高式石老斗六合 是八備前守様御代延宝七
未ノ年迄此高
当村神林寺江御赦免地ニ而御座候

一御年貢米之儀、出石御藏江御上納仕候、
一種貸米・夫食米、先小出様御代ニ者御拝借仕候、伊
賀様御代ニハ御かし不被遊候、

一当村金剛寺と申地觀音(勢至力)誓師之堂老字御座候、古ハ九

間四面之堂と申伝候、堂屋敷長廿五間、横十六間、

古來々御竿入不申候、去酉年町在方觀音講ニ而三間

半四面之堂立申候、未造作ハ得不仕候、

一寺老ヶ所 高野山正智院末寺 真言宗不動院(勸)

一切死丹類族無御座候

一鉄砲武挺 内

一 壱挺獵師筒 玉目三匁四分 持主

一 長右衛門

一 壱挺おどし筒 三匁二分 持主

一 久右衛門

一 郷藏無御座候、

一 陣屋敷無御座候、

一 酒屋無御座候、

一 御年貢米之儀、出石御藏江御上納仕候、

一種貸米・夫食米、先小出様御代ニ者御拝借仕候、伊

五 村の生活

一他村より出作之者無御座候、

一当村市場無御座候、

中田 一反二付 壱石

一田 烟小作入上ヶ 下田 一反二付 九斗
右之通ニ小作仕 上々烟一反ニ付 大豆六斗

候ヘ共、立毛次 第毎年甲乙御座 上烟 一反ニ付 同 五斗

候、 中烟 一反ニ付 同 四斗

下烟 一反ニ付 同 三斗五升

三里余

東 矢根村 平岡四郎右衛門様御代官所迄三里半
西 八鹿村 右同断

隣郷ヘ

北 豊岡

南 土田村

廿七町

廿老町山越

十六町

三里余

一稻毛 白赤黒稻種作り申候、

春作毛大麦小麦

一畠作毛大豆小豆粟稗作り申候、

田 一反歩ニ糲八升位

大麦毫斗四升

上烟 一反ニ付 六斗

一年季質地之儀八

下田 一反ニ付 七斗

中烟 一反ニ付 八斗

一当村田畠種子入之事

大麦毫斗七升

大豆五升位

上々烟一反ニ付 六斗

下烟 一反ニ付 六斗

一畠のこやし第一柴草馬やこへけすこへ仕候、

一畠のこやし 右同断、

上田 一反ニ付 壱石毫斗

右之通年季質五年切三年切相對ニて一年切ニも仕候、
尤田方上畠迄ハ質物ニ取申候ヘ共、中畠迄下ハ志ち

物ニハ取不申候、

一当村ニ伝馬出し不申候、

一女稼 冬春は菜とり、なつは草手仕、秋ハ御年貢仕立、冬ハ少々布など仕候、

一男かせき 耕作之間ニハ繩筵尤柴木杯杓壳申候、

一庄屋給 但、高百石ニ付御公儀様ヲ三斗宛被下候、

一先小出様御代ニハ庄屋給ノ外ニ出入下用と御座候而助成百石ニ付武斗被遣候へ共、伊賀様御代ヲ是

ハ不被遣候、

一組頭給 無御座候、

一定使給 御物成百石ニ付老斗五升ツ、御公儀様ヲ被

為下候、

一御用ニ而江戸江庄屋罷越候儀ハ終ニ無御座候故、入

用無御座候

一組頭 同断、

一百姓 同断、

一御検見之儀、小出様御代・伊賀様御代ニも御見分之

上ニ而毛損被遣候、

一樹木ハ大栗柳少々御座候、壳申程者無御座候、

一百姓四壁之儀ハ大豆小豆杯かけほし申候、かけ木な

と御座候、

一山伏老人も無御座候、

一行人老人も無御座候、

一鐘扣老人も無御座候、

一こも僧老人も無御座候、

一道心老人 是ハ右奉申上候通、觀音堂守覺伝と申候

者ニ而御座候、

一座頭老人も無御座候、

一こせ老人も無御座候、

一□多老人も無御座候、

一くわいら師老人も無御座候、

右者当村今度御支配被成候ニ付、御改被遣候間、依之田畠反別并浮役臨時物等其外御改之品々書上ヶ申候通、少も相違無御座候、若隠置偽り申上候者如何

様之曲事ニも可被仰付候、以上

宝永三年

弘原中庄村屋
長左衛門

戌

同村年寄

清太夫

"

善太夫

御奉行様

三二 但馬国出石郡口小野村差出帳（宝永三年）

西村平八郎家文書

武拾五町九反三畝拾武歩
田方

武町五反六畝武拾七歩

烟方

此訛

上々田壱町八反壱畝武拾壱歩
壱反^ニ付
壱石四斗盛

分米武拾五石四斗三升八合

壱反^ニ付

上田拾五町武反三歩
壱石三斗盛

分米百九拾七石六斗壱升三合

戌七月日

但馬国出石郡口小野村差出帳

但馬国出石郡口小野村 江戸へ陸道百五拾里余

舟道不奉存候、

下田武町六反武畝

壱反^ニ付

壱石壱斗盛

一高三百四拾五石三斗九升五合

田烟御水帳之面
外^ニ出高無御座候、

内

四石武斗三升壱合

田方年々引

残り 武石三斗壱升壱合

田烟年々引

三百三拾八石八斗五升三合 田烟とも

此反別武拾八町五反九歩

(表紙)

宝永三年

但馬国出石郡口小野村

西村平八郎家文書

武拾五町九反三畝拾武歩
田方

壱反^ニ付

壱石壱斗盛

上々田壱町八反壱畝武拾壱歩
壱反^ニ付
壱石四斗盛

分米武拾五石四斗三升八合

壱反^ニ付

上田拾五町武反三歩
壱石三斗盛

分米百九拾七石六斗壱升三合

壱反^ニ付

中田五町三反壱畝拾武歩
壱石壱斗盛

分米六拾三石七斗六升八合

壱反^ニ付

下田武町六反武畝
壱石壱斗盛

分米式拾八石八斗式升	壱反二付	八斗盛	荒下々烟六畝六歩	四斗盛
下々田九反八畝六歩			分米式斗四升八合	
分米七石八斗五升六合	壱反二付	壱石三斗盛	一高拾式石四斗六升	延宝五巳年ノ 新発田烟
屋舗三反六畝九歩			九斗壱升三合	内
分米四石七斗壱升九合	壱反二付	壱石三斗盛	八升八合	田方ニ而年々引
麻烟式反五畝九歩			残り	烟方ニ而年々引
分米三石式斗八升九合	壱反二付	壱石三斗盛	拾壱石四斗五升九合	
上々烟壹反拾八歩			此反別壱町三反拾式歩	
分米壹石壹斗六升六合	壱反二付	壱石壹斗盛	内	
上烟三反九畝六歩			八反五畝拾式歩	田方
分米三石九斗式升	壱反二付	八斗盛	四反五畝	烟方
中烟三反九畝式拾壹歩			此訛	
分米式石六斗壹升六合	壱反二付	六斗盛	壱反二付	
下烟八反三畝式拾七歩			上田四畝式拾七歩	
分米五石三升四合			分米六斗三升七合	
下々烟式反式畝式拾壹歩	壱反二付		壱反二付	壱石三斗盛
分米九斗八合			中田式反六畝式拾四歩	
			分米三石式斗壹升六合	
			"	
			壱石壹斗盛	

			分米	
中烟三畝				
分米武斗四升				
下々烟三畝				
分米壱斗武升				
右八延宝五巳九月十一日				
一高武石六斗六升九合				
此反別四反拾八步				
内				
壱反三畝三歩	田方			
武反七畝拾五歩	烟方			
下々田壱反三畝三歩	壱反付 壱石壱斗盛			
分米壱石四斗四升壱合				
下烟六畝拾武步				
分米三斗八升四合				
			八斗盛	
			分米八斗四升四合	
			下々烟武反壱畝三歩	壱反付
				四斗盛
			右者元禄五申壬四月	村野四郎左衛門殿改
			元禄五申ノ年	大条市右衛門殿改
			新発田烟	元禄七丑年 (寅カ)新発田烟
			一高壱斗五升六合	
			此反別壱畝拾八歩	
			内壱畝六歩	田方
			拾武歩	烟方
			下田壱畝六歩	
			分米壱斗三升武合	
			下々烟拾武歩	
			分米武升四合	
			右者元禄七年戊十月日西村茂左衛門殿改	
			宝永元申年	
			新発田烟	
			一高武石九斗九升	
			此反別三反七畝	
			内武反五畝	田方
			壱反武畝	烟方
			此訛	

田武反五畝	壺反ニ付	壺石盛
分米武石五斗	同	四斗盛
烟壺反武畝		
分米四斗八升		
右者宝永元申年沢井新兵衛殿改		
一新田場	無御座候、	
一土地砂地ニ而	御座候、	
一当村年ニ乞旱損水損年荒も	御座候、	
一大豆高懸り物	無御座候、	
一懸り物在と申事	無御座候、	
一懸り物高ヘ入候物	無御座候、	
一魚鳥運上	無御座候、	
一萱野	無御座候、	
一御林	無御座候、	
一御竹藪	無御座候、	
一御水帳壺冊小出大和守様寛永式拾壹年申八月廿五日 御檢地	一百姓乞御運上差上申林 姫岩ノ谷 百姓林壺ヶ所 此反別武町五反 同断 清水谷 大谷	富川孫左衛門殿 中嶋九郎左衛門殿 西川太郎右衛門殿 川井治右衛門殿 加藤清太夫殿 中条半右衛門殿 仕候、
竿手御役人	此反別四町五反	

五 村の生活

橋葉谷	一同断	老ヶ所	此反別老町	付畠之内	同六步	同断 弥兵衛
一 むかいの谷	一同断	老ヶ所	此反別老町五反	一 屋じき之内	同 同 拾五步	同断 同人
高徳谷	同断	老ヶ所	此反別八反五畝	同 同	三步	同断 同人
志やせぶ	一同断	老ヶ所	此反別五反五畝	一同老ヶ所		
一 いはやし月夜谷共	一同断	老ヶ所	此反別老町五反	一 同老ヶ所		
一 同拾五步	一同拾五步	百姓敷彦左衛門	被拾所此反歩合拾七町九反	一 同老ヶ所	除敷 自性院	
一 山手米老石三斗八升式合	毎年御年貢上納仕来り申候、	一 口米御物成老石二付	一 夫米御物成老石二付	一 蔽合拾四ヶ所百姓蔽・除蔽共		
一 山のこせニ有	竹敷拾五步	三升宛御取被遊候、	七升五合	同		
一 野畠之内	一 拾五步	一 永夫錢と申事	一 無御座候、	同		
一 同断	一 同断	一 惣右衛門	一 無御座候、	同		
一 同	一 同拾五步	一 永野錢と申事	一 無御座候、	同		
一 やしき内	一 拾五步	一 惣右衛門	一 無御座候、	同		
一 同断	一 同拾五步	一 惣而運土之類何ニ而茂	一 無御座候、	同		
一 同	一 同拾五步	一 水門	一 川除少々之義ハ百姓自普請仕候、多く御座候節ハ	同		
一 付畠之内	付畠之内	一 淵池	一 水門老ツ御座候、御公儀様被成下候、	同		
一 同	一 同拾五步	無御座候、	無御座候、	同		
一 麻畠之内	一 麻畠之内	同断 善四郎	同断 善四郎	同		
一 同	一 同拾五步	同断 懿太夫	同断 懿太夫	同		
一 同拾五步	同拾五步	同断 三郎右衛門	同断 三郎右衛門	同		
		被遣候、	被遣候、	同		
		御公儀様御普請被成下候、	御公儀様御普請被成下候、	同		

一 用水桶 長拾五町余	一 牛數合拾五疋内 拾疋八男牛
堰 同式町余 同拾八町余	三ヶ所
右三ヶ所御座候、自普請ニ仕候、	一馬ハ 無御座候、
一 水桶 無御座候、	一牛馬医 無御座候、
一 橋式ヶ所長式間宛自普請ニ仕候、	一馬喰 無御座候、
一 川運上 無御座候、	一牢人 壱人小出久千代様御家来寺崎佐太夫と申仁居被
一 海運上 無御座候、	申候、昨今ハ豊岡御家中ニ奉公被致候、
一 獅舟并渡舟 無御座候、	一大工木挽桶屋袖取折敷指無御座候、
一 百姓惣而家數五拾六軒内 武拾三軒百姓 三拾三軒八田地も持不申者ニ御座候	一鍛冶砂官繪師 無御座候、
一 田烟屋敷致居申候者 三拾三軒	一御朱印寺社 無御座候、
一 烟屋敷ニも蔽之内 御年貢出シ申候、	一宮地 若宮姫宮荒神三ヶ所御座候、何連茂宮屋敷
一 人数合式百八拾人 内 百三拾九人 男 百四拾人 女 壹人 出家	三畝余除地ニ御座候、
右人数之内不宜成者老人茂無御座候、勿論書付之外	一辻堂壹ヶ所御座候、堂屋敷壹畝余之所除地ニ而御座
村中ニ老人茂隠置不申候、	候、其外堂塔無御座候、
一 御藏壹軒壹間半四方藁ふき	一寺壹ヶ寺 真言宗 高野山正智院末 自性院
一 鐵砲所持之者壹人茂 無御座候、	一切支丹之類族 無御座候、

- 郷藏屋敷御年貢百姓より御上納仕候、一田畠小作入上ヶ
一陣屋敷 無御座候、 上田姥反ニ付姥石武斗五升
- 一獵師老人茂 無御座候、 下田姥反ニ付九斗
- 一酒屋 無御座候、 下田姥反ニ付九斗
- 一御年貢之儀、舟道無御座候、御公儀様より駄賃不被下
候、百姓出石御蔵へ持付ケ申候、一畠方上中下共姥反ニ付、三升四升ツ、之入上ヶ
種貸米夫喰米拝借金 無御座候、 但シ、所ニ付少々宛高下御座候、
- 一他村よ里当村へ出作之者 無御座候、 一年季質地上中下共田姥反ニ付、銀子三百五拾匁宛か
り申候、
- 一当村東西へ武拾五町斗 南北へ武町余、
- 一隣郷 倉見村長谷村と申、小出主膳様御知行所、口小野村
より西ニ而御座候、
- 一同 矢根御銀山生野代官様御支配所、是ハ口小野村より東ニ
而御座候、
- 一稻 どろかへりたいとうと申稲作り申候、 一女稼 大かた御年貢持仕候、其間ニハ口すき仕候、
一当村田畠種子入申事 田姥反ニ付糀五升 一男かせき 耕作間ニハこそはいあつめ申候、
一田之こやし ほしか又者げすこゑ仕候、 入下用差遣候、御物成之内拾歩一之夫米出シ不申候、
一畠之こやし 右同断、 是ハ百姓おい來り候、
- 一定使老人御座候、村より給米取来り申候、五斗庄屋給
米之内定使へ出し申候、 一定使老人御座候、村より給米取来り申候、五斗庄屋給
米之内定使へ出し申候、
- 一組頭給 無御座候、
- 一御用ニ付名主江戸へ罷越し候儀只今迄無御座候、百

姓之儀も右同前ニ而御座候、

一 御檢見之儀者石取ニ而御座候、

一百姓四壁何竹柳ゑの木御座候、

一 山伏行人老人茂

一 鐘扣老人も

一 虛無僧老人茂

一 道心老人茂

一 □多老人茂

一 くわいらいし老人茂

一 無御座候、

右者当村今度御支配罷成候ニ付御改被遊候、依之田畠

反別并浮役臨時物等其外御改之品々書付申候通、少し

茂相違無御座候、若シ偽申上候ハ、如何様之曲事ニモ

可被仰付候、以上

宝永三年

戊ノ七月日

口小野村年寄

同断 伊兵衛

利左衛門

同庄屋

弥兵衛

分米四拾石八斗弐升八合

一石武斗

中田合三町五反六畝廿七步

分米百五石老斗五升七合

一石三斗

上田合八町八畝廿七步

分米五十弐石七斗八升

一石四斗盛

上々田三町七反七畝

内訳

弐拾八町五反六畝三歩

拾六町老反四畝三歩 田高

拾弐町四反弐畝

畠高

一高三百老石九斗九升弐合

上野村

出石川舟戸迄廿弐町

江戸へ陸道百五拾里

但馬国出石郡山之中上野村

舟道ハ不奉存候、

御奉行様

三 但馬国出石郡山之中上野村差出帳 川見義昭家文書

五 村の生活

一石一斗 下田合六反八畝九歩 分米四石七斗二升二合

烟高合八拾四石二斗五升七合 内九斗二升一合 盛御用捨先川成共

八斗 下々田合三畝 分米二斗四升

一石三斗 屋敷合四反九畝九歩 先荒川成道溝下共 八畝九歩分米一石七升九合

田高合武百八石五斗毫升八合 内拾七石七斗三升四合 神主庄屋敷御赦免

内

廿石毫斗三升三合

年々川成、山入溝土手道下限地荒共

一石二斗 上々畑合武反六畝九歩

分米三石毫斗五升六合

一石一斗 上畑合武町武反九畝廿四歩

分米廿五石二斗七升八合

八斗 中畑合三町毫反四畝六歩

分米廿五石毫斗三升六合

六斗 下畑合四町武反武升三步

分米廿五石三斗武升六合

三斗 下々畑合毫町五反七畝十武歩

一高三斗七升

内

八升四合

田高

四斗九升五合

田高

七斗三升八合

烟高

右ハ宝永元申年伊賀守様御代御地改、御竿手沢井新兵衛殿御改被成候、

新発田烟

式斗八升六合

畠高

右ハ小出久千代様御代元禄五年御地改御竿手村野

四郎左衛門殿御改ニ而、御取次ニ而右ノ畠宝永元申年石入ニ被成申候、

一屋敷三斗七升九合 田高十七石五斗三合 畠高八石

八斗八升六合 三口惣物成メ十七石壱斗式升七合、

夫米なし、

右ハ御水帳之通ニ御座候、田畠麻屋敷引ケ反之儀

御免定ニ新古共委細御載被為遊置候、

一土地赤土砂土黒土ニ而御座候、

一当村旱損水損年ニ右御座候、毛損之儀ハ大方毎年御座候、

一大豆之儀、畠高之分大豆ニテ御年貢上納仕候故、高

ニハ懸り不申候、

一掛け物桂之儀、作不仕候故、懸り物無御座候、

一懸り物高ニ入候物、無御座候、

一魚鳥運上無御座候、

一萱野無御座候、

一御林無御座候、

一御竹藪無御座候、

一芝野無御座候、

一御水帳壱冊

御竿手

富田孫左衛門殿

中条半左衛門殿

西川太郎右衛門殿

小出大和守様御代

御地改、

加藤清太夫殿

中嶋九郎左衛門殿

河井次郎右衛門殿

上納仕候、

茶代上納仕候、

一米壱石九斗八升五合

一薪取場村之内ニ而取申候、尤山手の御運上米一石式

一粟三斗四升五合

斗八合上納仕候、右の外かり畠年貢

一稗壱斗六升

刈畠年貢

同断、

一 大豆五升	一 五反	一 ねき	一 壱町三反	文四郎
一 四匁三分	一 三反	同断、 ぬか代	一 壱町	八兵衛門
十四石三斗三升	一 六反	勘右衛門	一 壱町一反	又右衛門
三分ツ、	一 七反	喜兵衛	一 壱町一反	喜兵衛
一十九匁一分式り	一 一五反	弥兵衛	一 壱町一反	善太夫
(匁) わら武百八十六束七 <small>わ</small> 把	一 一五反	惣山	一 壱町一反	八郎太夫
一小豆壹升五合	一 一五反	苅畠年貢	一 三反	善太夫
四 蕎麦式斗九升五合	一 二五反	苅畠年貢	一 三反	助太夫
一 楷役 無御座候、	一 三反	苅畠年貢	一 三反	助太夫
一 漆役 無御座候、	一 三反	苅畠年貢	一 三反	助太夫
一 紙漉 先年ハ少々つゝ仕、漉申候へ共、只今ハ不仕候、	一 三反	苅畠年貢	一 三反	助太夫
一 かいこ少々つゝ仕、則糸綿ニ仕候、	一 三反	苅畠年貢	一 三反	助太夫
一 炭燒 無御座候、	一 三反	苅畠年貢	一 三反	助太夫
一 塩燒 無御座候、	一 三反	苅畠年貢	一 三反	助太夫
一 沼池地 無御座候、	一 三反	苅畠年貢	一 三反	助太夫
一 御運上差上ヶ申御林	一 三反	苅畠年貢	一 三反	助太夫
一百姓林拾五ヶ所	一 三反	苅畠年貢	一 三反	助太夫
此わけ	一 三反	苅畠年貢	一 三反	助太夫
一 野錢 無御座候、	一 三反	苅畠年貢	一 三反	助太夫
一 六尺給 無御座候、	一 三反	苅畠年貢	一 三反	助太夫
一 野錢 無御座候、	一 三反	苅畠年貢	一 三反	助太夫

一米一石五斗 関普請井料 中川原と申所之井料	一屋敷廿六軒	但し、是ハ年貢地
毎年御公儀様より被遣候、尤洪水ニ而井きれ、百姓 力ニ難及候分ハ御国役ニテ閑被下候年も御座候、	一蔽拾七ヶ所内	又右衛門
一水門 無御座候、	同断	武畝九歩
一川除 是ハ御公儀様御見分之上ニテ御国役と申して 隣在之者被召寄、御普請被成被下候、尤御扶持米 七合五勺ツ、被遣候、少々之所ハ村中として仕候、	六步	源兵衛
一溜池 無御座候、	拾武歩	藤右衛門
一用水堰 内のり武尺	三歩	長兵衛
是ハ古来より堰ハ御公儀様より被遣、普請ハ百姓仕候、	壺畝十五歩	八兵衛
一水樋 無御座候、	六步	文四郎
一土橋壠ヶ所 上ノ前大川のはしひ而御座候、橋木ノ 分は御公儀様より被為遣、桐野村・上ノ村両村 立合 かけ來り申候、	八丈	三右衛門
一川運上 無御座候、 一海運上 無御座候、	壺畝廿一步	善兵衛
一獵舟 無御座候、 一渡舟 無御座候、	十五歩	弥兵衛
一百姓惣家数合六拾壠軒 内廿四軒 百姓	三步	吉助
一畑屋敷 三拾軒	三畝十武歩文四郎	右敷ノ十七所内七ヶ所ハ年 貢地 拾ヶ所ハ御年貢地ニ 而ハ無御座候、

一人數合三百廿壱人	内百六拾六人男	一御朱印寺社 無御座候、
右之人數之内不宜成もの壱人も無御座候、勿論書付	百五拾五人女	一宮地 無御座候、
之外村中ニ壱人も隠置不申候、		一堂 壱ヶ所御座候、
一牛數合拾八疋 内七疋	男牛 女牛 壱疋	一荒神之小社 壱ヶ所御座候、
牛相煩候節ハ則當村ニ左衛門と申牛医御座候故、		一權現之小社 壱ヶ所御座候、
呼養生仕候、		一大日之小社 壱ヶ所御座候、
一馬喰 無御座候、	一牢人 無御座候、	一寺 無御座候、
一大工 無御座候、		一切死丹類族 無御座候、
一木挽 壱人御座候、夏秋ハ作仕、冬春少しつゝ木挽		一郷藏 壱軒 但、わらふき
細工仕候、		一陣屋敷 無御座候、 内御座候、
一桶屋 無御座候、		一酒屋 無御座候、
一鍛冶屋 無御座候、		一御年貢之儀ハ出石御藏へ人牛ニテ上納仕候、
一杓取 無御座候、		一種貸米夫食米先小出様御代ニハ御拝借仕候、伊賀守
一砂官 無御座候、		様御代ニハ御かし不被遊候、
一折敷指 無御座候、		
一絵師 無御座候、		

一他村より当村江出作之者	無御座候、	大豆四升
一当村市はニ面無御座候、		
一当村東西南北	東桐野村江十武町半	
	西鍛冶屋村江十八町	
	北日野辺村へ十町半	
東矢根村 平岡四郎左衛門様御代官所迄	上々田一反ニ付	壱石三斗
隣郷 西八鹿村 右同断	中田一反ニ付	壱石三斗
北豊岡 京極甲斐守様御知行所 三里半	下田一反ニ付	八斗
南糸井村 平岡四郎左衛門様御代官所迄	下々田一反ニ付	六斗
	上々烟一反ニ付	八斗
	上烟一反ニ付	七斗
	中烟一反ニ付	五斗
	下烟一反ニ付	四斗
一稻毛 白赤黒稻種作り申候、	下々烟一反ニ付	壱斗五升
一畠毛 春作毛 大麦小麦		
一畠毛 夏作毛 大豆小豆粟稗作り申候、		
一当村田畠種子入之事 田一反歩ニ畠五升くらい	上々田一反ニ付	一石三斗
一畠毛 夏作毛 大豆小豆粟稗作り申候、	上田一反ニ付	一石三斗
一畠毛 夏作毛 大豆小豆粟稗作り申候、	中田一反ニ付	一石壱斗
右之通ニ小作仕候へ共立毛次第毎年不同、		
上々田一反ニ付		
上田一反ニ付		
中田一反ニ付		

下田一反ニ付 九斗五升

而御物成百石ニ付式斗ツ、被下候、

一年季質地之儀ハ

下々田一反ニ付 八斗

一組頭給 無御座候、

上々烟一反ニ付 煙ハ質物ニ取不

一定使給 是も御公儀様より高百石ニ付老斗五升ツ、被

申候、

上烟一反ニ付 同断、

一御用ニ付江戸ヘ庄屋罷越候儀、終ニ無御座候者、入

中烟一反ニ付 同断、

用無御座候、

下烟一反ニ付 同断、

一組頭 同断、

下々烟一反ニ付 同断、

一百姓 同断、

一御檢見之儀小出様御代ニハ毛損付之御檢見ニ被為遊、

望ニシテ小檢見ニも被遊仰付、伊賀守様御代ニハ立毛

一通り御見分被遊、少々毛損被下年も御座候、

一じゆ木少々ツ、栗柿御座候へ共売申程ハ無御座候、

一百姓四壁之儀ハ大豆小豆なとかけほし申候、えのき

など御座候、

一山伏 無御座候、

一行人 無御座候、

一鐘扣 無御座候、

申候、

一庄屋給 但、御公儀様より高百石ニ付三斗ツ、被下候、

先御代ノ内ハ庄や給米ノ外出入下用御座候

一 こも僧 無御座候、

一道心 無御座候、

一座頭 無御座候、

一 こせ 無御座候、

一 □多 無御座候、

一 くわいらい師 無御座候、

右ハ当村今度御支配ニ被成候間、御改被為遊候、依之
 田烟反別并浮役臨時物等其外御改之品々書上ケ申候通、
 少も相違無御座候、若隠置偽り申上候ハ、如何様之曲
 事ニ也可被仰付候、以上

上ノ村庄や

弥兵衛

同村年寄

八郎太夫

戌

善兵衛

"

惣百姓代

八兵衛

八郎太夫

同村年寄

御奉行様

四三 但馬国出石郡長砂村差出帳控

川崎好家文書

上田合壱町四反貳畝三歩
壱石三斗盛

此訛

(表紙)

宝永三年

但馬国出石郡長砂村

江戸
舟道曾而不奉存候、

百五拾里と及承申候、

一高六拾八石九斗九升三合

田烟

内

拾壱石貳斗貳升

土なし御免状之面明白仕候、

残而五拾七石七斗七升三合

此反別

三町壱畝十貳歩

田高

五町壱畝十五歩

内貳反九畝十貳歩

麻屋敷

壱町七反廿壱歩

畠高

此訛

分高拾八石四斗七升三合	壺石武斗盛
中田合壺町三反九畝廿四歩	中烟合武反武畝九歩
分高拾六石七斗七升六合	八斗盛 分高武石武斗三升
壺石壺斗盛 下田合壺反九畝	下烟合三反四畝十八歩
荒田十五歩	六斗盛 分高武石七斗六升八合
分高武石九升	下々畠合三反四畝
壺石壺斗盛 分高武石九升	五斗盛茶下御用捨 分高武斗五升
田高合三拾七石三斗九升四合	六斗盛下々畠合五畝
壺石三斗盛 屋敷七畝三歩	六斗盛 分高武斗五升
分高九斗武升三合	六斗盛 分高武斗廿四歩
麻烟武反武畝九歩	六斗盛 荒畠武畝廿四歩
分高武石八斗九升九合	六斗盛 分高武斗六升八合
麻屋敷高合三石八斗武升武合	烟高合拾六石五斗五升七合
内壺石壺斗一升壺合 麻烟盛御用捨、庄屋屋敷共	壺石五斗六升七合 茶下御用捨、荒川成 宝永式年酉ノ御改 一高壺斗武升六合
壺石三斗盛 上々畠四反六畝三歩	新発烟高
分高五石九斗九升三合	此反別
壺石武斗盛 上烟合武反五畝廿七歩	六斗盛 武畝六歩 御竿手猶村宇兵衛殿
分高武石九升三合	六斗盛 分高武斗六升六合

但シ、此石高御免状ニ御書越被下候得共御水帳ハ

出不申候、

一新田近江屋喜市仕候得共未成就不仕候、

一土地野土小砂地ニ而御座候、

一当村之儀、年ニカ水損旱損も仕候、

一大豆之儀、畑高之分大豆ニ而御年貢上納仕候故、高

ニは懸り不申候、

一懸り物高ヘ入候物、無御座候、

一御水帳壱冊 遠山吉左衛門殿

元禄七戌年御改 森川弥右衛門殿

宮路作兵衛殿

松村甚五兵衛殿

林 浅右衛門殿

桑木御座候、為御運上、

一綿目武百四拾九匁六分宛上納仕候、

一蚕少シ宛仕候、

一薪取場当村ニ無御座候故、弘原谷武里程參申候、

一百姓林 少シ宛所持仕居申候而山手米上納仕候、

一沼池無御座候、

一百姓カ御運上仕候林、無御座候、

一川除

但シ、湛水之砌、土手切川かけ之様子ニカ極リ不申候、普請もケ所多少御了簡之上、国役ニ御積リ被成、自普請又者他村カ人足參候儀も御座候、勿論御扶持方被遣候、

一用水ノ井溝 式ヶ所

但シ、自普請ニ仕候儀有之、又者御国役ニ而被仰付候(儀)義も御座候、

一橋武ヶ所 壱ヶ所ハ三間ニ壹間半

一水桶水門 無御座候、

一橋武ヶ所 壱ヶ所ハ四間ニ壹間半

土橋

但シ、御公儀様カ被仰付候、

一板橋 壱ヶ所 長サ拾壹間横四尺

是は新田川違ニ付、近江屋喜市カ懸ケ申候、

一夫米之儀

但シ、御物成壱石ニ付七升五合 口米三升宛仕候、

六尺給米無御座候、
茶木御座候、為御運上、

一米壱斗三升四合
米五斗武升七合

茶代

一銀四匁七分三厘

山手

一矢根村平岡四郎左衛門様御代官所道法二里半

糠藁代

一豊岡京極甲斐守様御知行所道法二里半

山手

一一家數十七軒
内 十壱軒 百姓

糠藁代

一一人數合七拾三人 内 三十四人 男

糠藁代

一六軒 水呑
内 三十人 女

糠藁代

一壳物之儀 菜大根庭等少宛壳申候、

糠藁代

一早稻 北国 えびて
中稻 はつ 又八どろ

糠藁代

一晚稻 赤坂 三輪
春ハ大麦 小麦

糠藁代

一但シ、男牛
牛數合七疋

糠藁代

一牛馬医無御座候、牛相煩候節、他村る呼養生仕候、

糠藁代

一宮地 無御座候、
一御藏 右同断、

糠藁代

一御年貢 但シ、人夫ニ而、

一他村々出作人無御座候、

一田地質物ニ入、町方へ流切申候高三拾五石程、今程

町人支配ニ罷成申候、

一当村田畠種子入之事

糠藁代

一田壱反歩 粟八升
烟壱反歩 大麦壱斗四升

糠藁代

一小豆 五升
大豆 四升
胡麻 七升
麻壱反ニ付 六合

糠藁代

一赤坂 三輪
粟 種
稗

糠藁代

一春ハ大豆 小豆 粟 種
稗

糠藁代

一志るこへ つのし 草畠も同断、

糠藁代

一田のこやし 志るこへ つのし 草畠も同断、

糠藁代

一田上所壱反ニ付 壱石壱斗

糠藁代

一小作入上ヶ米

田中所壱反ニ付 壱石

田下所壱反ニ付 九升

右年柄ニ於少シ宛之上り下りも御座候、第一水所ニ
而御座候故、風雨之様子ニ於大分減少御座候、

上田壱反ニ付 壱石

一年季質地之儀ハ 中田壱反ニ付 九斗

下田壱反ニ付 八斗

上々烟壱反ニ付 七斗

上烟壱反ニ付 六斗

中烟壱反ニ付 五斗

下畠・下々畠壱反ニ付四斗

三斗迄

右之通、五年切・三年切相對ニ而壱年切ニも仕候、

一女かせき

但シ、夏ハ根付物何角仕、秋ハ稻のこなし、其間

ニ少シツ、布仕、漸下男下女夏冬兩度之仕着ニ渡

シ申程之儀ニ御座候、

一男かせき

但シ、耕作御年貢御納所方ニ懸り、其間ニ少シ宛

薪取申候、

一庄屋給米高百石ニ三斗宛、定使壱斗五升ツ、

一御用ニ付百姓共江戸江参候儀、無御座候、

一御檢見之儀、只今迄相對年並ニ於御見分請申候得ハ

毛損被為下候、

一樹木 栗柿少御座候、

一百姓四壁 榆柳少シツ、御座候、

一魚鳥運上 無御座候、

一萱野 無御座候、

一御林并御竹藪 無御座候、

一芝野 無御座候、

一炭燒塩燒 右同断、

一夫錢野錢 右同断、

一惣而運上物之類、右同断、

一閥壱ヶ所 山ノ中上野村ノ下 弘原四ヶ村町立会閥

一 潟池	一種貸夫食米	右同断、	申候、
一 市場		右同断、	
一 御伝馬并定助大助共		右同断、	
一 組頭給		無御座候、	
一 行人鐘扣		右同断、	
一 右同断、		無御座候、	
一 大工木挽		右同断、	
一 牢人		右同断、	
一 馬喰		右同断、	
一 桶屋折敷指		右同断、	
一 一鉢治杣取左官		右同断、	
一 一塙頭ごぜ		右同断、	
一 一絵師		右同断、	
一 一御朱印地		右同断、	
一 一寺		右同断、	
一 一切支丹類族		右同断、	
一 一鉄砲		右同断、	
一 一陣屋敷		右同断、	
一 猿師		右同断、	
一 酒屋		右同断、	
一 藩拾壹ヶ所	一 藩拾壹ヶ所	右同断、	
一 馬草場	一 紙漉	右同断、	
一 右同断、	一 右同断、	右同断、	
一 内	内	右同断、	
四 歓三歩	源左衛門	古藪廿四歩	
十 武歩	彦太郎	同	
六 步	治左衛門	三歩	
廿 壱歩	太左衛門	六歩	
廿七歩	八郎右衛門	同	
武拾壹歩古藪	同	宍畠六歩	
畠歩九畠廿壹歩		善太夫	
		彦太郎	
		太左衛門	
		古藪	
		御年貢地	

右者當村今度御支配罷成候ニ付御改被遊候、依之反別并浮役臨時物等其外御改之品々書上ヶ申候通、少も相違無御座、若隠置偽り申上候ハ、いか様之曲事ニ也可被仰付候、以上

宝永三年

戊八月廿四日

同村年寄

太左衛門
善太夫

同断

治左衛門

長砂村庄屋

三石八斗七升

取反別無御座候、

三石八斗七升

此反別三反八畝武拾壹步

荒下々田引地
田方引地

八石三斗武升四合

此反別六反九畝拾武歩

六石八斗七升六合

此反別六反九畝拾武歩

残而百七拾九石八斗七合

田方引地

一拾七石三斗七升武合

田方之毛付

内

烟方

田方引地烟ニ成、

(表紙)

四西 但馬国出石郡安良村高反別并諸色指出帳

中西丈夫家文書

元禄拾年

但馬国出石郡安良村高反別并

諸色指出帳

丑ノ四月十一日

宮内組

惣高メ武百五拾三石四升八合

但馬国出石郡
安良村

郷減屋敷

無御座候、

三拾石六斗八合

大荒無地高

六石八斗七升六合

山入川成茶下ニモ
田方引地烟ニ入、

四斗六升八合

明屋敷野烟ニ入、

			此分米百五拾七石七斗八升武合
外	此反別三畝拾八步	元禄七年御改畠二入、	
七斗五升四合	烟高々式拾四石式升六合	毛付	五反武畝式拾七步
一三石七斗五合	此反別式反八畝拾五步	屋敷	此分米六石八斗七升六合
三斗三升八合	此反別式畝拾八步	庄屋敷烟二入、	一中田四反五畝壹歩
四斗六升八合	此反別三畝拾八步	御赦免引地	此分米五石四斗四合
引残而式石八斗九升八合	屋敷有反	明屋敷烟二入、	外
此反別式反九畝九步	毛付	六反九畝拾式步	永荒引地
五斗七升三合	麻烟之御用捨 引ヶ地	此分米八石三斗式升四合	
引残而壹石九斗壹升	有反毛付	壹反二付壹石壹斗盛 一下田壹町式反拾式步	(本田延宝元年ニ 御編入烟万ニ成引地)
此反別壹反九畝三步		此分米拾三石式斗四升四合	
壹反二付壹石三斗盛 上田拾式町壹反三畝式拾步		壹反二付壹石壹斗盛 一下々田三反三畝式拾四步	
此分米百七拾九石八斗壹升		此分米三石三斗八升	
田反合拾四町壹反八畝式拾壹步		一荒下々田三反八畝式拾壹步	
此分米百七拾九石八斗壹升	有反 毛付	此分米三石八斗七升	
	引ヶ地		

外二

壱町六反壱畝

諸宮引ヶ地

此分米三升五合

一荒下々烟武拾壠歩

引ヶ地

此分米拾九石七升

此分米三升五合

外二

三拾石六斗八合
一壠反
二付壠石壠斗盛大荒無地高
一五反武畝武拾七步
此分米六石八斗七升六合田方烟ニ入、
明屋敷烟ニ入、
元禄七年御地改三拾石六斗八合
一壠反
二付壠石壠斗盛一上烟武反壠畝武拾七步
此分米七石七斗武升六合
一七畝拾八步
此分米四斗六升八合

外二

壠反四畝拾武歩

山入茶下荒川成引ヶ地
一壠反
二付九斗盛此分米七石七斗五升四合
烟反武町三反四畝三歩
此分米武拾四石武升六合

外二

壠反四畝拾武歩

此分米七石六斗九升
一壠反
二付九斗盛此分米七石六斗九升
一壠反
二付九斗盛山入川成茶下
永荒引ヶ地

外二

壠反四畝拾武歩

此分米七石六斗九升
一壠反
二付九斗盛此分米七石六斗九升
一壠反
二付九斗盛

毛付

此分米壠石九斗八升八合
一壠反
二付五斗盛此分米壠石九斗八升八合
一壠反
二付五斗盛此分米壠石九斗八升八合
一壠反
二付五斗盛此分米壠石九斗八升八合
一壠反
二付五斗盛

武畠拾八歩

此分米三斗三升八合

庄屋屋敷
御赦免引ヶ地

一米壱石九斗壱升六合九勺

茶代
山手

一米五斗七升四合

紺役

三畠拾八歩

此分米四斗六升八合

明屋敷烟方ニ入、

但シ、村ニ紺屋無御座候得者役米無御座候、

一綿目九百七拾九匁貳分

桑代

一麻烟壱反五畠三歩

一銀拾八匁七分八厘

ぬかわら代

内

五斗七升三合

御用捨ニテ引、

毛付

残而壱石九斗壱升

一田畠共

見取場外ハ無御座候、

町反ノ拾六町八反八畠拾貳歩

有反

一外之物之内高ニ入ル物

右同断、

此分米貳百八石六斗四升五合

毛付

一水帳

右同断、

外ニ

壱町七反八畠

田畠麻屋敷

但シ、正保貳巳年小出大和守様御代

御檢地帳壱冊御座候、

此分米貳拾壱石四斗貳升五合

引ヶ地

一御朱印地并除地

無御座候、

一壱反四畠拾八歩

新開

一御城米駄賃車力米錢

右同断、

此分米七斗三升

一 種貸並夫錢米其外押借金銀	右同断、	一 沼地	右同断、
一 一切支丹類族ころひの物	右同断、	一 他村より用水取不申候、	
一 鉄砲	無御座候、	一 提川除御普請御座候時ハ	御公儀江御断申上候得者 <small>(提)</small>
一 山川之物其外名物献上之物	右同断、	一 御公儀の罷成被下候、御公儀ニ御手つかへ被成、百姓罷出御普請相勤候得者扶持方日雇銀被遣之候、百	
一 百姓林三ヶ所御座候得共、草山ニ而御座候、	反別知レ不申候、	姓罷出御普請相勤候得者扶持方日雇銀被遣之候、百	
一 蔽百姓之居屋敷之内少シ宛御座候、		一 坍樋式ヶ所	壱丁ハ長五間 橫三尺 高三尺
一 但シ、御年貢不出場御座候、又ハ御年貢出候場所ニ茂御座候、	但シ、御公儀入用ニテ出来仕候、	一 同堀ヶ所	長三間 橫八寸 高五寸 板三寸
一 船	無御座候、	一 橋	但シ、板橋 長七間 橫式尺五寸
一 紙漉	右同断、	一 先年より御公儀より御入用、	
一 馬草場	一 嶋・福居・伊豆・田多地・安良五ヶ村入相、野手出不申候、	一 他村より入作	
一 炭焼	一 越石	一 無御座候、	
一 塩焼	一 海川	一 無御座候、	
一 渡船	一 猿船	一 無御座候、	
一 右同断、	右同断、	右同断、	
一 土ハ田方大かた砂土黒土少々御座候、			

一 畑方 <small>へいん</small> 志き砂土 <small>ニ</small> 而御座候、	一 鍛治木挽桶屋柵取左官	一 篠屋敷	一 篓屋敷	一 錫治木挽桶屋柵取左官	一 篠屋敷	一 篓屋敷
田烟小作入上ヶ	右同断、	右同断、	右同断、	右同断、	右同断、	右同断、
一 上田壱反 <small>ニ</small> 付	一 下田壱反 <small>ニ</small> 付	一 中田壱反 <small>ニ</small> 付	一 畑之義 <small>儀</small> ハ砂 <small>ニ</small> 而小作 <small>ニ</small> 成不申候、	一 売買不仕候、	一 酒屋	一 市場
一 畑之義 <small>儀</small> ハ砂 <small>ニ</small> 而小作 <small>ニ</small> 成不申候、	無御座候、	無御座候、	一 馬	一 鹰場	一 御伝馬	一 陣屋敷
一 樹木之類	右同断、	右同断、	一 马医	一 隣村	一 売人馬	一 売人御座候、
一 魚鳥菓子之類野菜繩筵裀表	右同断、	右同断、	一 馬喰	一 売人御座候、	一 马医	一 马医
一 売人并医者	右同断、	右同断、	一 売人御座候、	一 売人御座候、	一 売人御座候、	一 売人御座候、
一 売人	右同断、	右同断、	一 売人御座候、	一 売人御座候、	一 売人御座候、	一 売人御座候、
一家大工	右同断、	右同断、	一 売人御座候、	一 売人御座候、	一 売人御座候、	一 売人御座候、
但シ、御公儀之役村役茂勤メ不申候得共自然札 場致候得者相勤申候、	右同断、	右同断、	一 男之かせき	春ハ野菜つミ 夏ハ布 秋ハ作物しこ 物取集 冬ハ繩筵仕候、御年貢俵持ヘ、 一 庄屋給米村高 <small>ニ</small> 米三厘并出入下用、村高 <small>ニ</small> 米壱厘武 毛、二口合米四厘武毛ツ、被下候、	なし仕候、	なし仕候、
一 紺屋	一定使	一定使	老人御座候、	老人御座候、	老人御座候、	老人御座候、
但シ、紺屋役米壱斗武升上納仕候、	一定使	一定使	老人御座候、	老人御座候、	老人御座候、	老人御座候、
一 御年貢之外高役壱ヶ年 <small>ニ</small> 高拾石 <small>ニ</small> 付、何程と書上可	一定使	一定使	老人御座候、	老人御座候、	老人御座候、	老人御座候、

申様無御座候、御年貢之外ニ出候何物不同ニ御座候、
尤人足ハ御用之節以、御差団出し申候、是も不同ニ

御座候、

一御用ニ付庄屋出石江罷出候、何ニ而も其日帰仕候得
者さまで雜用懸り不申候、

一江戸江 百五拾里余

一京都江 三拾里

一大坂江 三拾六里余

一出石江 壱里余

一豊岡 京極甲斐守様御城下江戸里

一東西南北之義ハ谷々多ク御座候ニ付、何拾町と知レ
不申候、

中西弥右衛門

控

三拾九石六升九合

大荒レ

是ハ御地改之節、高不足、御水帳面ニも反別無

御座候、

残高七百八拾七石九斗七升六合

田畠共

但州出石郡下郷伊豆村差出帳控（宝永三年）

田淵進家書

（表紙）

宝永三年

但州出石郡下郷伊豆村

差出帳扣

戊八月十九日

田淵武兵衛

但州出石郡伊豆村 江戸ヘ

陸道百五拾里

舟道不奉存候、

川岸之義（巻）以下同出石川筋ニ而御座候、

一高八百戸拾七石四升五合

御水帳面出高
無御座候、

内

此反別

五拾壱町壱反五畝六歩	田方	壱石壱斗盛 上々烟合七反八畝拾八歩
六拾六町四反九歩	拾三町壱反九歩	壱石 盛 分米八石六斗四升六合
之内	壱町武反四畝	上自留合四町五反武畝武拾七歩
九反武十四歩		九斗 盛 分米四拾五石武斗九升
此訳ヶ		中自留合六町九歩
壱石三斗盛 上田合三拾町六反五畝拾五歩	分米五百拾四石武升七合	下自留合壱町武反六畝
壱石三斗盛 下田合武町四反八畝武十七歩	分米八石八斗武升	五斗 盛 分米九斗五升五合
壱石三斗盛 下々田合三反五畝拾五歩	分米壱石六斗七升	五斗 盛 下々自留合三反三畝拾武歩
分米三百九拾八石五斗壱升五合		下々自留合壱町武反九畝三歩
中田合拾七町三反三畝拾五歩		新発烟ニ成申候、
壱石壱斗 盛 分米武百八石武升		壱石三斗 盛 新発烟ニ成申候、
壱石壱斗 盛 分米武拾七石三斗七升九合		屋敷合壱町武反四畝
壱石 盛 下々田合三反五畝拾五歩		壱石三斗 盛 麻畑合九反武拾四歩
分米三百石五斗五升		田地ニ罷成申候、
壱石 盛 荒レ下々田三反壱畝武拾四歩		御檢地之節、荒地故引ヶ高ニ成、只今新發
分米三百石壱斗八升		

分米拾壺石八升四合

右之惣分高

合七百八拾七石九斗七升六合 役高

内訛ケ

田高六百四拾石六斗四升四合

此内

拾九石七斗三升三合

畠高毛付入

右是者先年洪水之節、田方出入ニ罷成、出入限ニ仕候
故、畠方毛付江御入被成候、

拾三石貳斗壹升七合

川成溝下道下、御檢

地以後、年々引地、

六斗壹升六合

右荒地之内申ノ起新

内

九斗七升五合

庄屋屋敷御赦免

五石五斗壹升貳合

明屋敷野畠成

引残

九石六斗三升三合 屋敷定成

麻畠高拾壺石八斗四合

貳拾七石五斗九升三合

川成溝下道下土取

此内

場、御檢地以後年
々引地、

内

壺斗五合 申ノ新発畠寅方取付管、

三斗七升壺合 右荒ノ内申ノ起地新畠ニ成也、

引残

九拾壺石四斗四升四合 本畠毛付

拾九石七斗三升壺合

右田方畠畠方へ入、

五石五斗壹升貳合

明屋敷野畠分へ入、

屋敷高拾六石壹斗貳升

武石七斗武升四合	麻烟御用捨	七斗盛 下畠 老町式拾毫歩
引残 九石七斗八升	麻烟毛付	五斗盛 分米七石四升九合
元禄十七年之御改		下々畠毫反五畝
一高拾石九斗三升三合	新発田畑	
元禄十七年申ノ年之御改		
一高毫石七斗三升七合	同断、永荒起地	
武口メ 拾武石六斗七升		
此反別		
毫町六反武畝六歩之内	三反毫畝九歩 田方	
毫町三反毫畝九歩 田方		
毫町三反甘七歩 畠方		
此内		
七斗毫升四合 御改以後、堀川欠引、		
毫石三反毫畝拾九歩	残而八石五斗毫升三合 畑方毛付	
毫石毫斗盛 六畝		
分米三石四斗四升三合		
上畠 六畝		
分米六斗		
九斗盛 中畠 九畝六歩		
分米八斗武升八合		
一掛り物大豆之儀者、當御領之儀者畑方御年貢者大豆		
一当村之儀、水所ニ而御座候故、旱損之儀ハまれニ御		
座候、水損ハ多少ニ不寄、毎年御座候、		

有次第被為召上、残分は銀納仕來り候、此外ニカ
リ大豆と申義者無御座候、

一掛り物荐之儀者当村ニ無御座候、

一かゝり物之内高入候ものハ無御座候、

一魚鳥運上之儀

銀七匁五分川運上、下郷川人八人之
内川漁師老人前

一鴨わな役 冬春之御運上銀貳拾三匁

但し、春請仕候得ハ銀拾壹匁五分、不定役ニ而御座
候、

一萱野 御座なく候、

一御林 御座なく候、

一御竹藪 無御座候、

一芝野 無御座候、

一御水帳三冊内 本水帳壹冊、但し、六十貳年以前正
保式年酉八月小出大和守御檢地、棹

手御役人

中条半左衛門殿

新發帳壹冊

西川太郎右衛門殿
中嶋九郎左衛門殿

但し、拾三年以前元禄七年戊十一月ニ小出久千代
様御改、棹手役人

西村茂左衛門

新發帳(帳)壹冊

但し、三年以前元禄拾七年申三月ニ松平伊豆守様
御改、棹手役人

沢井新兵衛殿

一桑之木御座候間、御運上綿目差上ヶ申候、

但し、楮漆無御座候、

一紙漉 無御座候、

一かいこの儀、御運上無御座候故、桑相應ニ仕來り候、

一薪取場之儀、当村之内ニ者無御座候、同郡榜庄村方
野山ヘ嶋村・福良村・安良村・田立村・当村五力村

共先年も入來り申候、右故榜庄村ニ而薪不足ニ御座

候ニ付、奥小野・口小野・当村ニ而買木仕候、

納仕候、

一炭焼 無御座候、

無御座候、

一永野錢と申事
御運上之類

無御座候、

一塩燒

無御座候、

山手

一沼地

無御座候、

権役

一御運上差上申ス林

無御座候、

茶年貢

一百姓林之義小山三ヶ所

御座候、

土手茶代

但シ、松木少々御座候テ、柴刈干シ杯仕候様成場
所ハ無御座候、

一北浦山壺ヶ所(高三拾間余
よこ百廿間余)

桑年貢

一土生山壺ヶ所(高武拾間余
よこ七拾間余)

山主三人

一箱根山壺ヶ所(高廿間余
よこ三間余)

川運上

一永夫錢と申義

一銀七匁五分

武ヶ所

但し、六尺給錢も

一井関場所百姓自分普請

武ヶ所

一夫米御物成米大豆壺石ニ付米七升五合

但し、壺ヶ所ハ小野川下当村壺ヶ村之井関□立会ニ而御座候、

右夫之儀、先年ハ夫人ニ而御遣被遊候得共、いつの
頃よりか米ニ而被召上候、

一口米御物成壺石ニ付米三升、大豆三升ハ大豆ニ而上

代ニ者閑度ニ願之通ニ被遣來申候得共、近年伊

賀守様御代ニ者不被遣候、

一水門大小拾八カ所御座候、損シ申節者御断申上、御

公儀様々被成下候、

一川除ヶ所数之儀知レ不申、当村之儀、川筋ニ而御座候故、往来之道其外田地之抱毎年多少ニ御座候、普請之儀下郡中寄七人足ニ而被仰付來候、人足御扶持方老人ニ付七合五勺宛被下候、

一麻烟屋敷 五軒

一惣人數合四百八人内

武百拾七人
武百九拾老人
男
女

一屋敷 三拾九軒

(式十ヶ所ハ古敷、式ヶ所新敷、
御年貢地、

廿五間下作百姓
拾八間水呑

一溜池

一水桶

一水桶

一用水溝大小三ヶ所、自普請ニ仕申候、

一水桶

無御座候、

無御座候、

一百姓竹藪式拾七ヶ所内壱反式拾式歩

七ヶ所御年貢地、式拾ヶ所古やぶ

内

一橋老ヶ所

但し、板老枚、橋長式拾三間、是ハ田地之通申橋

ニ而、百姓自普請ニ而橋杭者被下來申候、

一川運上之儀

右書付上申候七匁五分外ハ無御座候、

一海運上 猿舟 渡し舟ハ

但し、小船四艘ハ御座候、

一百姓惣家數八拾七軒内

三拾四軒田地持百姓

九步

六步

拾五步

式拾歩

五左衛門

三歩

長左衛門

(源兵衛
徳右衛門

拾一步

徳兵衛

六步

五郎兵衛

三歩

勘兵衛

(半右衛門

九步

惣兵衛

權右衛門

九ア <small>(歩以下同)</small>	三郎兵衛	十五ア	勘四郎
三歩	半右衛門	六步	勘右衛門
八郎兵衛	八郎兵衛門	小左衛門	一木挽 桶屋 鍛治 柚取 砂官 折敷指シ 総師
九步	半右衛門	吉左衛門	右之者共老人も無御座候、
拾武ア	權右衛門	吉右衛門	但し、鍬ふらさしは御座候、
六歩	右同断	左衛門	一木挽 桶屋 鍛治 柚取 砂官 折敷指シ 総師
壺畠九ア	太右衛門	平右衛門	但シ、屋敷脇ニ神明光神住吉四ヶ所少々宮跡御座候、
六歩	次郎兵衛	善右衛門	但シ、屋敷脇ニ神明光神住吉四ヶ所少々宮跡御座候、
十武ア	五郎兵衛	亀	此屋敷式畠余、古来ノ御除地ニ而御座候、
六歩	勘右衛門	喜一郎	一地蔵堂 福居村当村之間ニ御座候、
一牛数合 拾四疋	但、男牛斗、	一寺	一阿弥陀堂 壱ヶ所
一牛医 壱人も無御座候、	但し、馬は無御座候、	一切支丹類族	無御座候、
一牛馬喰 壱人も無御座候、	但し、馬は無御座候、	無御座候、	但し、おとし筒ニ御座候、
一牢人 壱人も無御座候、	但し、馬は無御座候、	一鉄砲壺挺 玉目三匁五分	持主六郎兵衛
		但し、おとし筒ニ御座候、	但し、おとし筒ニ御座候、
		長さ式間半	但し、わらぶき
		よこ式間半	但し、わらぶき
		一郷藏壺ヶ所	一郷藏壺ヶ所
		郷藏之義、先年者無御座候得共近年被仰付、庄屋屋敷之内へ立置候、	郷藏之義、先年者無御座候得共近年被仰付、庄屋屋敷之内へ立置候、

一陣屋敷	無御座候、
一獵師	右前書之通りニ御座候、
一酒屋	無御座候、
一御年貢米之義、当村之義出石川筋取船ニ而差上申候、	当村田地之上東西江八町余、南北江拾五町、但し、
舟貨老石ニ付六合宛ニ御座候、	福居村当村入組ニ而御座候、
一種貸夫食米之義、小出様御代ニ者奉願上候得者相応	片間村同領
二御貸被下候、	安良村同領
一他村方當村ニ出作之義	一当村之儀、市場所無御座候、
一高百拾石余	一當村田地之上東西江八町余、南北江拾五町、但し、
一高六拾三石余	福居村当村入組ニ而御座候、
一高三拾石余	片間村同領
一高七石余	安良村同領
一高式拾石余	一當村之儀、市場所無御座候、
一高式石余	福居村当村入組ニ而御座候、
倉見村	一當村之儀、市場所無御座候、
新右衛門	福居村当村入組ニ而御座候、
右出作之義者先年者無御座候得共百姓あまたつぶれ	片間村同領
申候而借方へ田地相渡候へハ、作之義者当村之作仕	安良村同領
一當村田畑種入	一當村之儀、市場所無御座候、
田壱反ニ付畠五升	福居村当村入組ニ而御座候、
水くさりに而めいわく仕候、	片間村同領
当村畠方之儀、井閼沼ヘ水ニ而ひへ大分ニ作仕候、	安良村同領
水くさりに而めいわく仕候、	片間村同領
当村田畑種入	一當村之儀、市場所無御座候、
田壱反ニ付畠五升	福居村当村入組ニ而御座候、
水くさりに而めいわく仕候、	片間村同領
当村田畑種入	一當村之儀、市場所無御座候、
田壱反ニ付畠五升	福居村当村入組ニ而御座候、
水くさりに而めいわく仕候、	片間村同領

- 畠壱反ニ付 大麦壠斗五升
大豆五升 小麦六升 稔三升
田畠中入組高拾石ニ付 銀三百五拾匁從
下組高拾石ニ付 同六百五拾匁迄
- 一 田畠こやし つのふじ
一 田畠小作入上ヶ
一 上田春田預ヶ壠反ニ付壠石三斗
一 中田同 預ヶ壠反ニ付壠石武斗
一 下田同 預ヶ壠反ニ付壠石壠斗
一 下々田同 預ヶ壠反ニ付壠石
一 上畠同 預ヶ壠反ニ付 壠石九斗
一 中畠同 預ヶ壠反ニ付 八斗
一 下畠同 預ヶ壠反ニ付 七斗
右之通春下作ニ預ヶ申候へ共當村之儀者水所ニ而田
烟共ニ年々惡作仕、無田ニ罷成候義も御座候ニ付、
每秋下作人と立会相對之上ニ而免切仕來り申候、
- 一年季質地之事
- 田畠上
但し 相對ニ而三年切・五年切又は壠年切ニも仕候、
此外壠反切之年季質地ハ無御座候、然レ共毛壳申一
作壠ニ壠反ニ付米壠石宛掛り申候、右年數之儀、相
對之上ニ而仕候段、高下御座候、
- 一 御手馬之儀 無御座候、
- 一 女義夏者耕作之手伝、冬は布仕候、
一 男かせき耕作之間草木ヲ取、冬繩俵庭など仕候、
一名主給米百石ニ付米三斗宛被成下候、
一 組頭給者無御座候、
- 一 但し、村之内ニ而日役少々用捨仕候、
一定使給米高百石ニ付壠斗五升宛被下候、
右之外村中々たし米不申候、
- 一名主御用ニ付江戸江罷越候義、只今迄無御座候、
一組頭百姓之義も右同断、
- 一 御檢見義者反畠ニ而取來り申、惡作之年ハ小檢見ニ

願上候、雨風無御座年ハ大檢見被成來り候、尤御對

免ニ請申候義も御座候、

一樹木、栗樹少々御座候、壳買仕候程ハ無御座候、

一百姓四壁から竹の木柳屋敷廻リニ御座候、

一山伏壺人 同郡宮内村般若院霞下

金明院

一行人壺人も無御座候、

一鐘扣壺人も無御座候、

一こそ僧壺人も無御座候、

一道心五人内 三人坊主 武人ひく尼

一座頭井ニゴゼ 壱人茂無御座候、

一□多 壱人も無御座候、

一くわいらい師 壱人も無御座候、

右は当村此度御支配ニ罷成候ニ付御改被遊候、依之田

畑反別井ニ浮役臨時物等其外御改之品々書上申候通、

少し茂相違無御座候、隠置偽り申上候ヘハ如何様之曲

事にも可被仰付候、

宝永三年戊八月十九日

伊豆村庄屋 甚左衛門

年寄 平兵衛

同断 半右衛門

同断 平右衛門

同断 善左衛門

同断 吉右衛門

同断 武兵衛

2 在郷商人

印鑑控

『諸事文言扣』 平尾源太夫家文書

平尾源太夫

小野山善太郎

上田吉郎右衛門

以上